



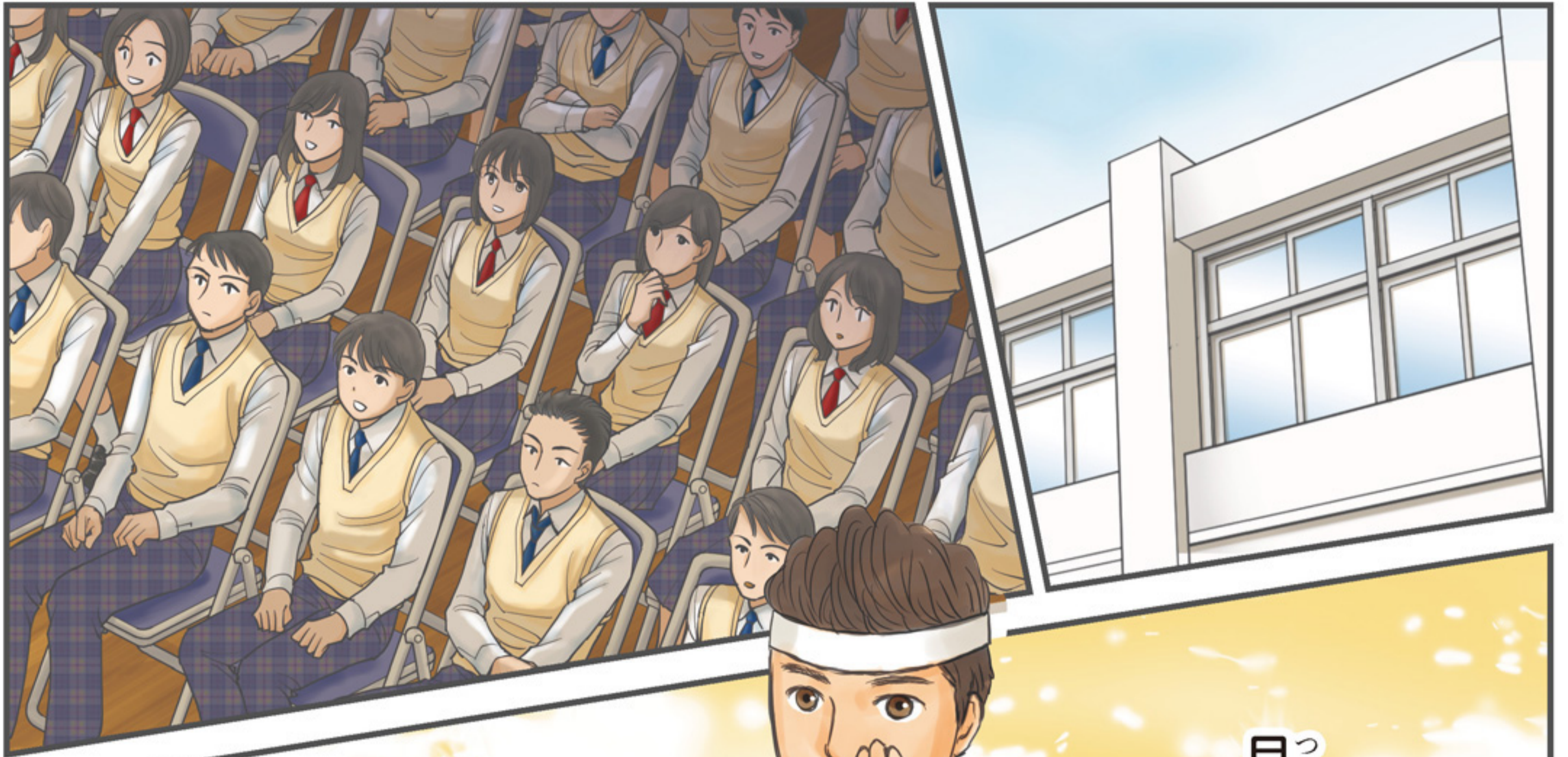
吟

舞

COMIC

舵ムック 吟と舞5号
別冊付録

Chapter2
決意



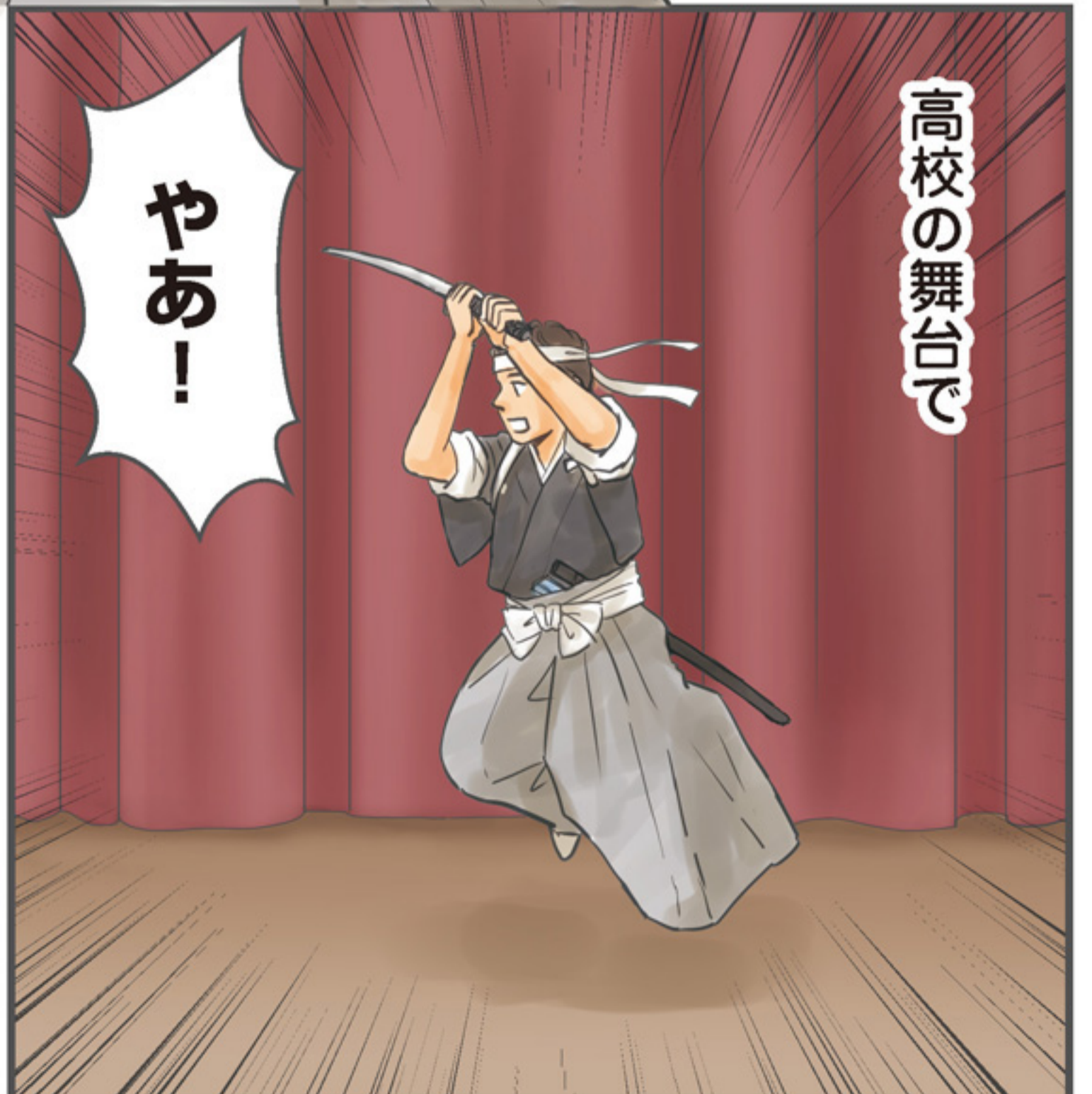
つきな
月奈
かおる
薫

16
歳



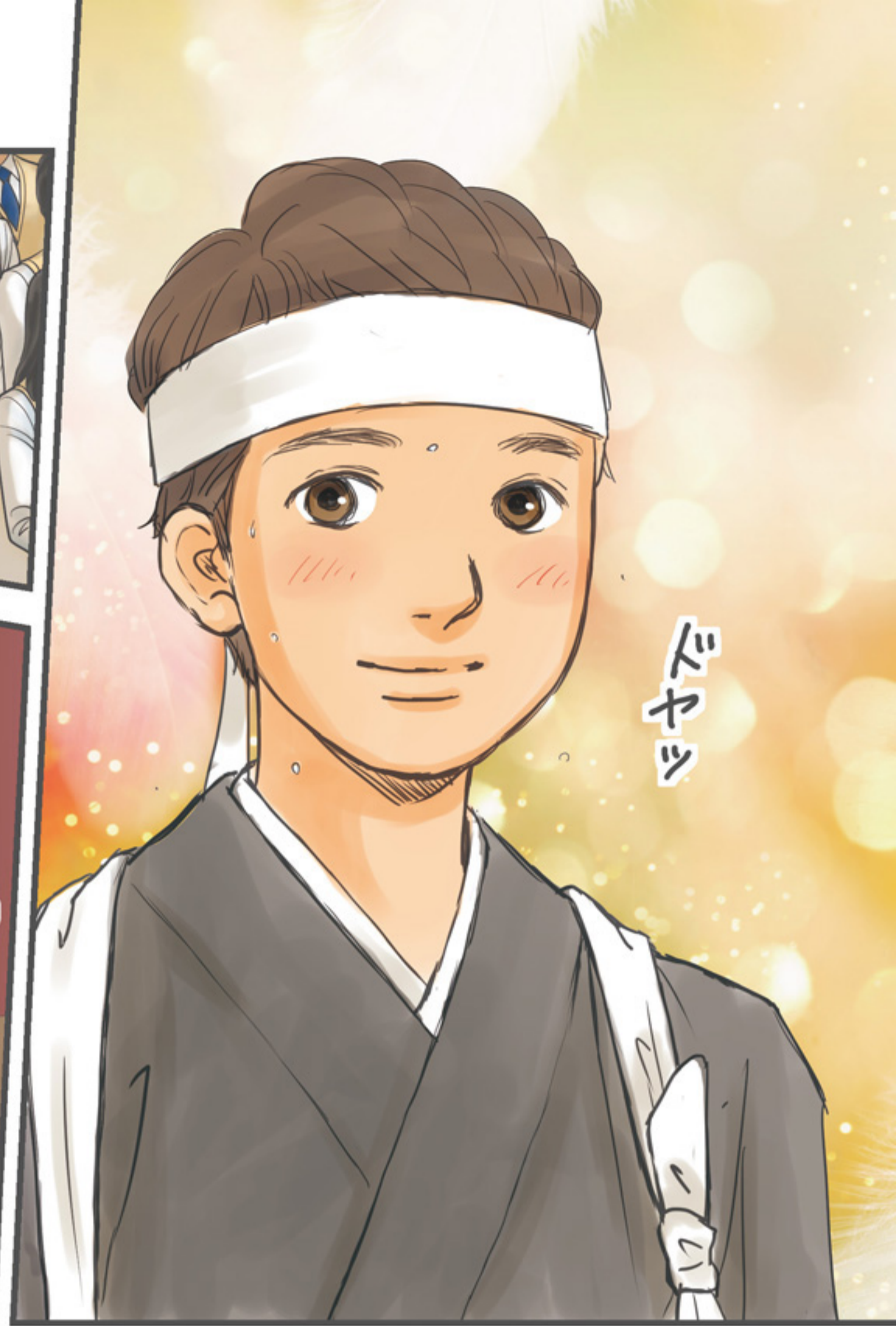
月奈くん
すごい

学園祭向けにと
剣舞を披露する機会を
もらった



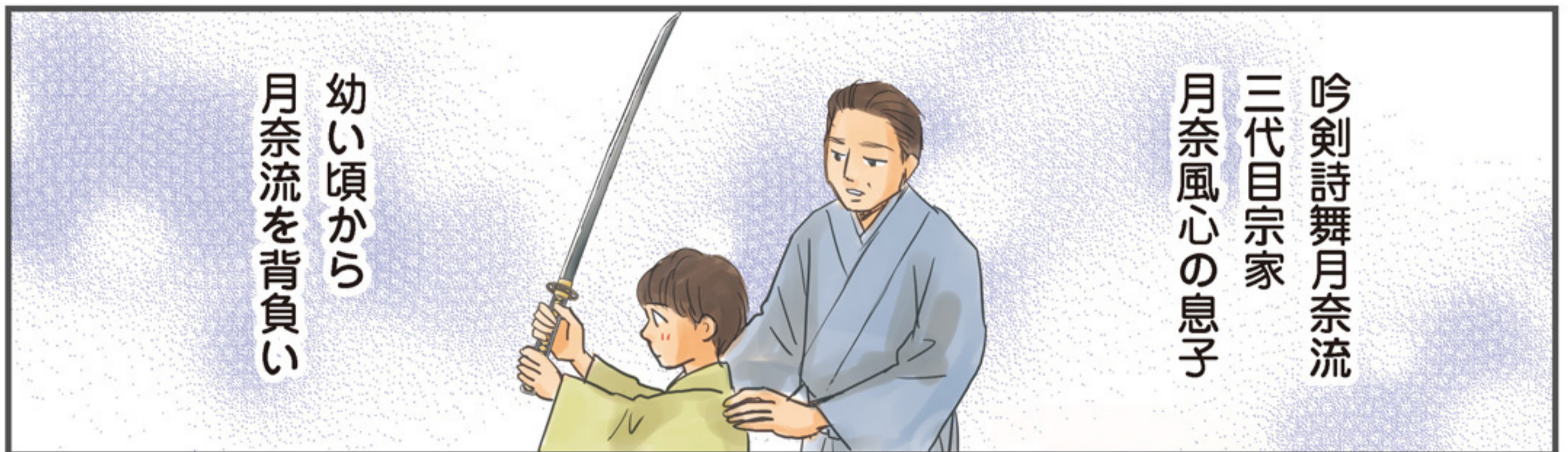
高校の舞台上で

やあ！



ドヤッ

俺は

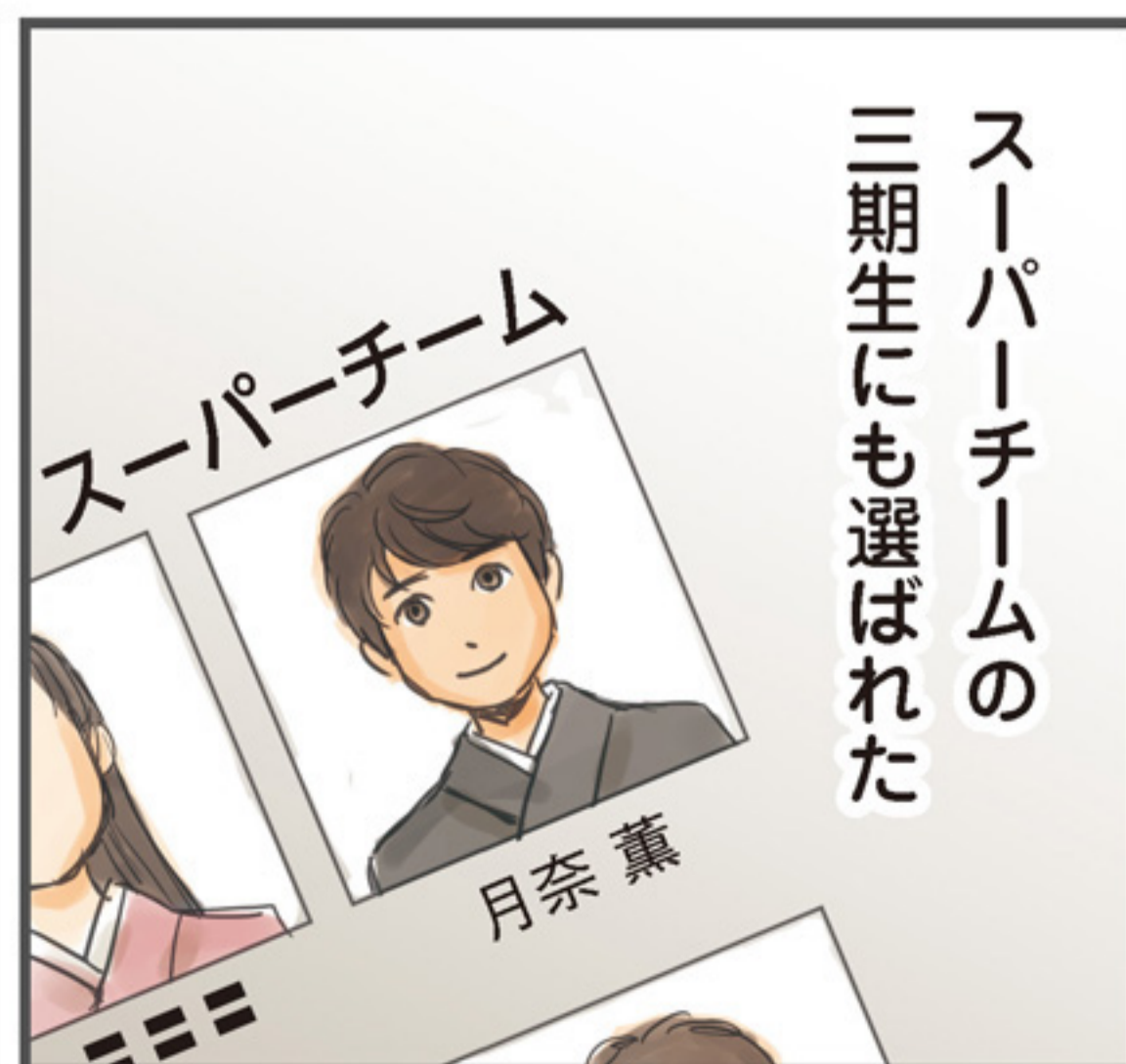


吟剣詩舞月奈流
三代目宗家
月奈風心の息子

幼い頃から
月奈流を背負い



とは
スーパーチーム



スーパーチームの
三期生にも選ばれた

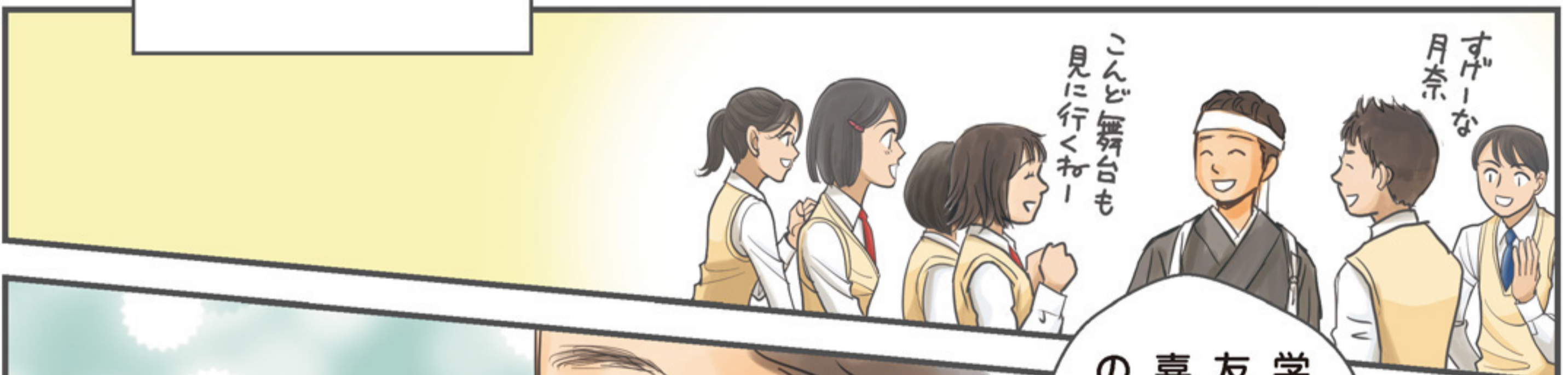


日々鍛錬を重ね

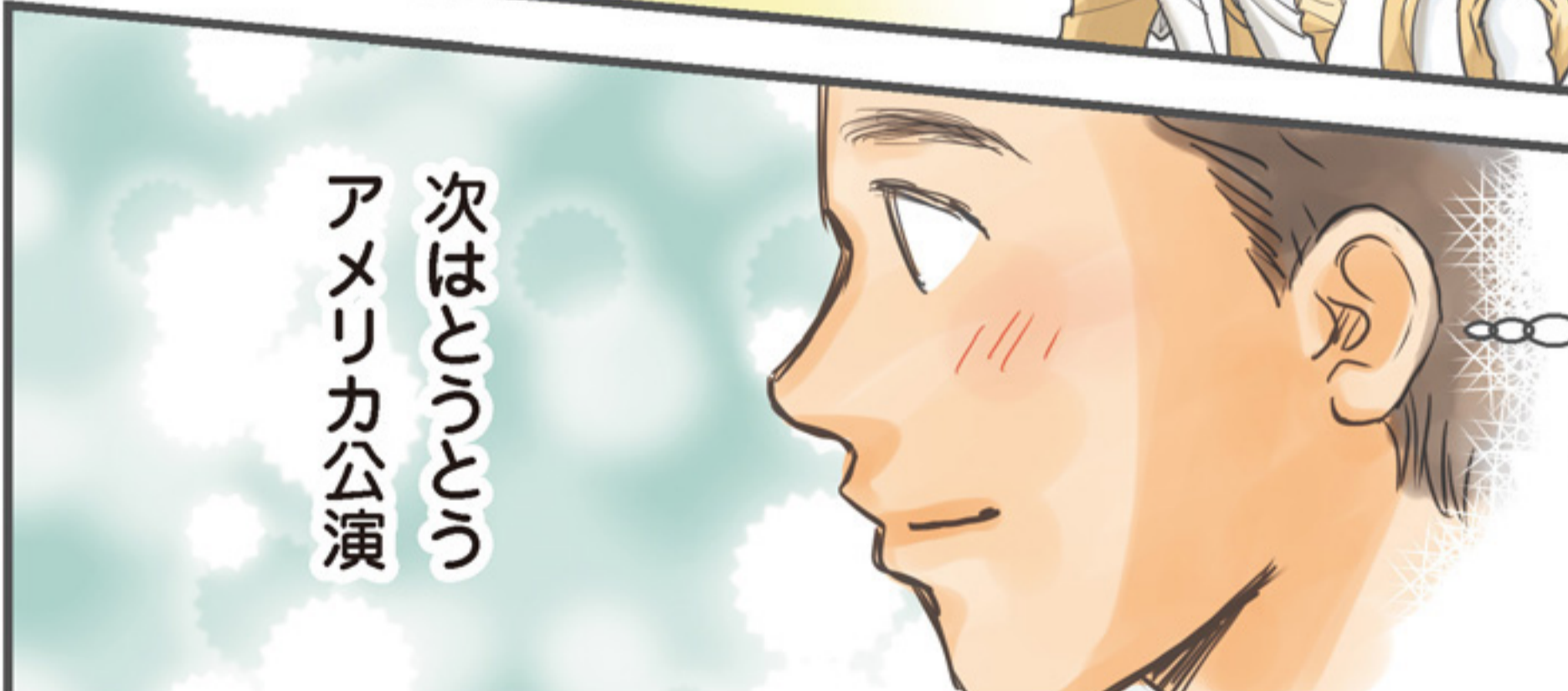


吟剣詩舞の振興のために
若い人たちを中心に
武道館大会や名流大会など
公益財団主催のイベント出演を
通じ

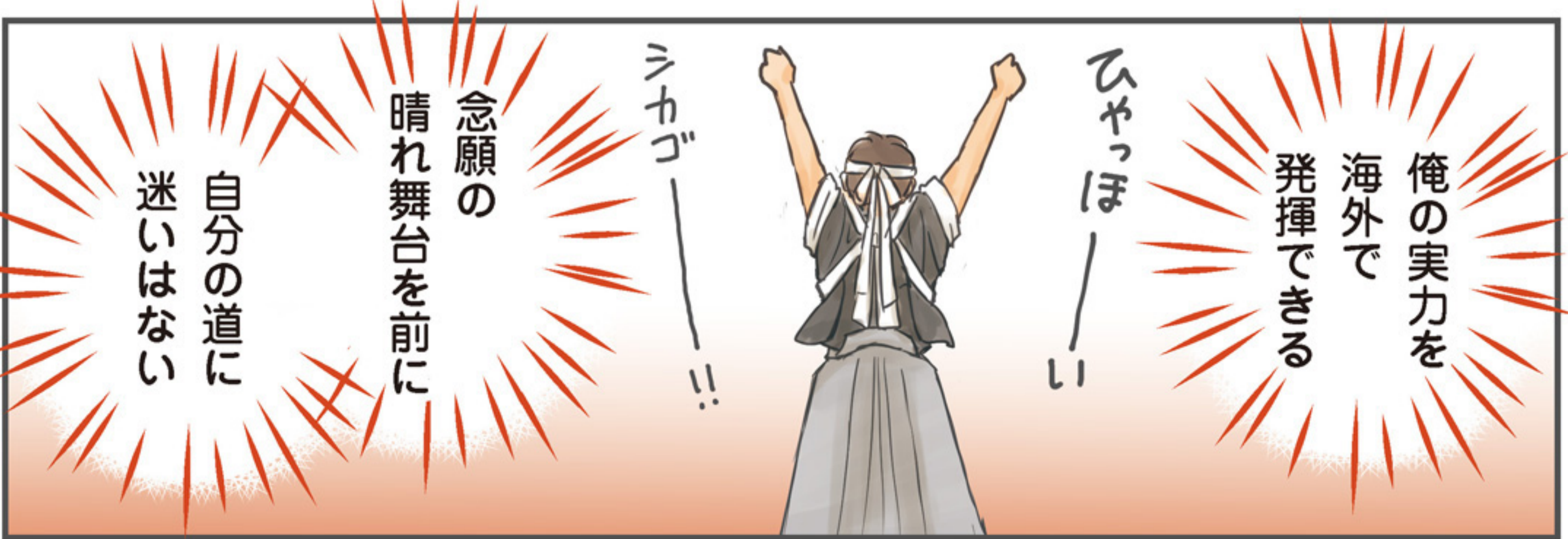
広く社会に
吟剣詩舞を紹介
するために
結成された
特別なチームだ



学校で
友だちに
喜んでもらえる
のも嬉しいけど



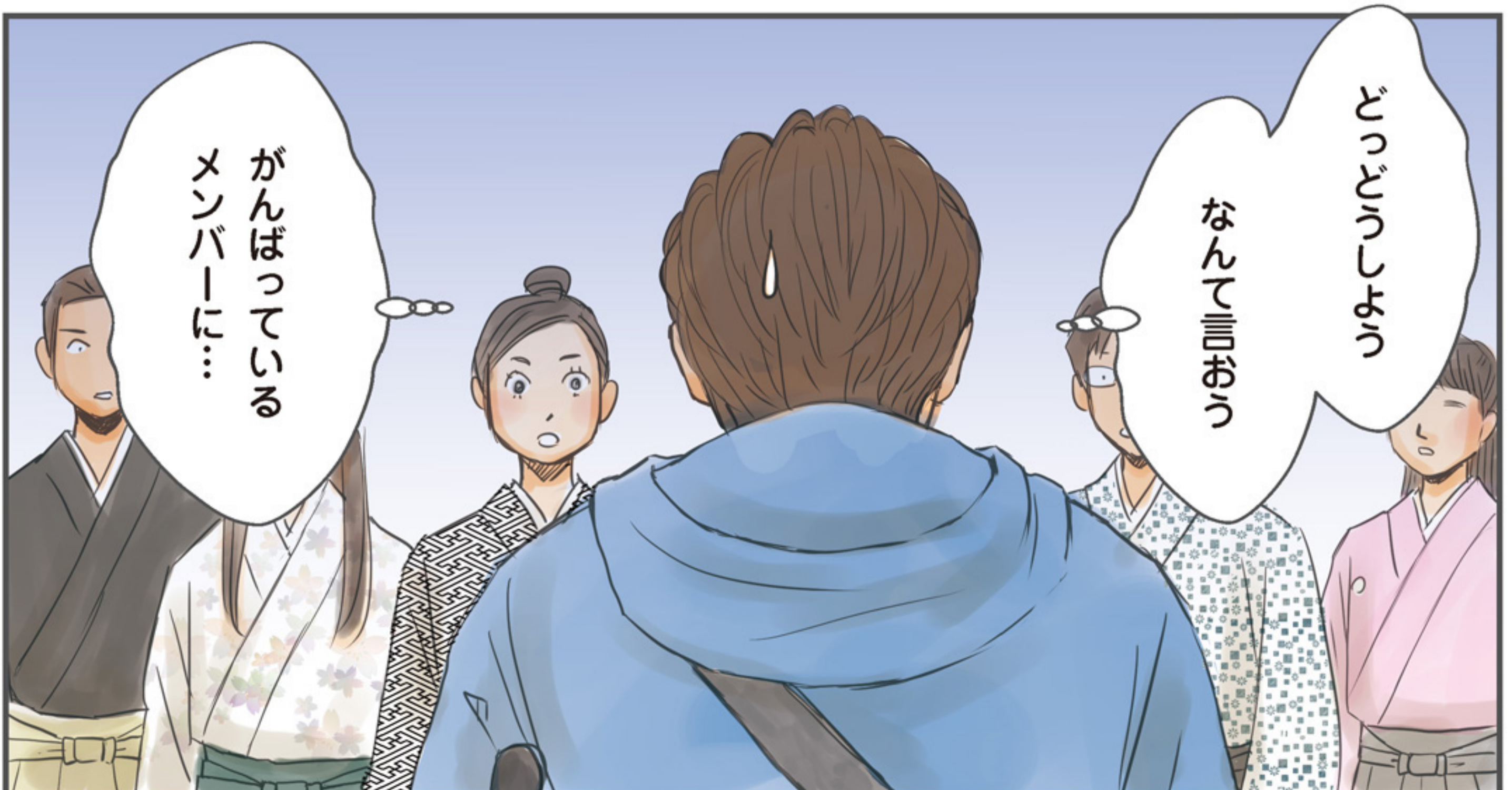
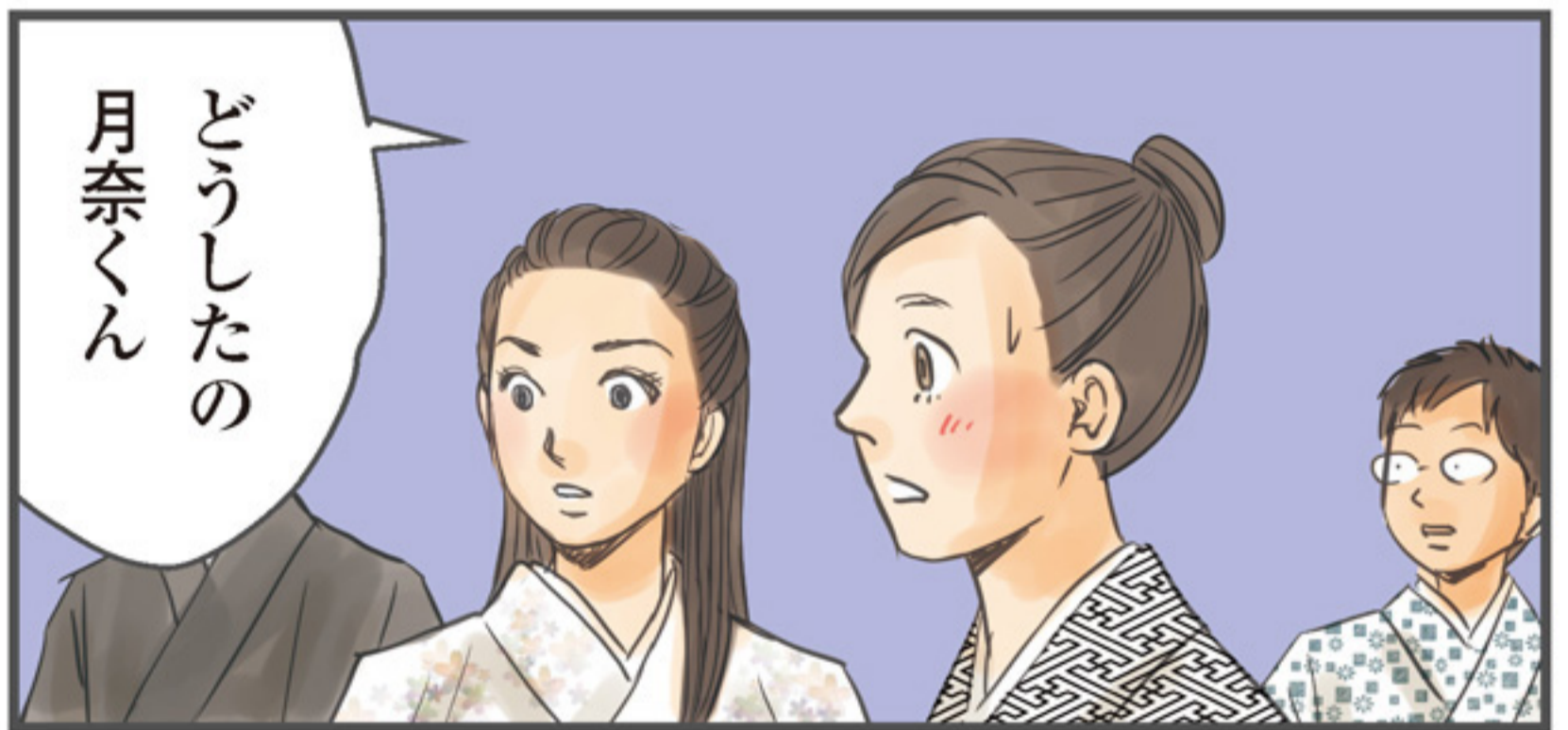
次はとうとう
アメリカ公演



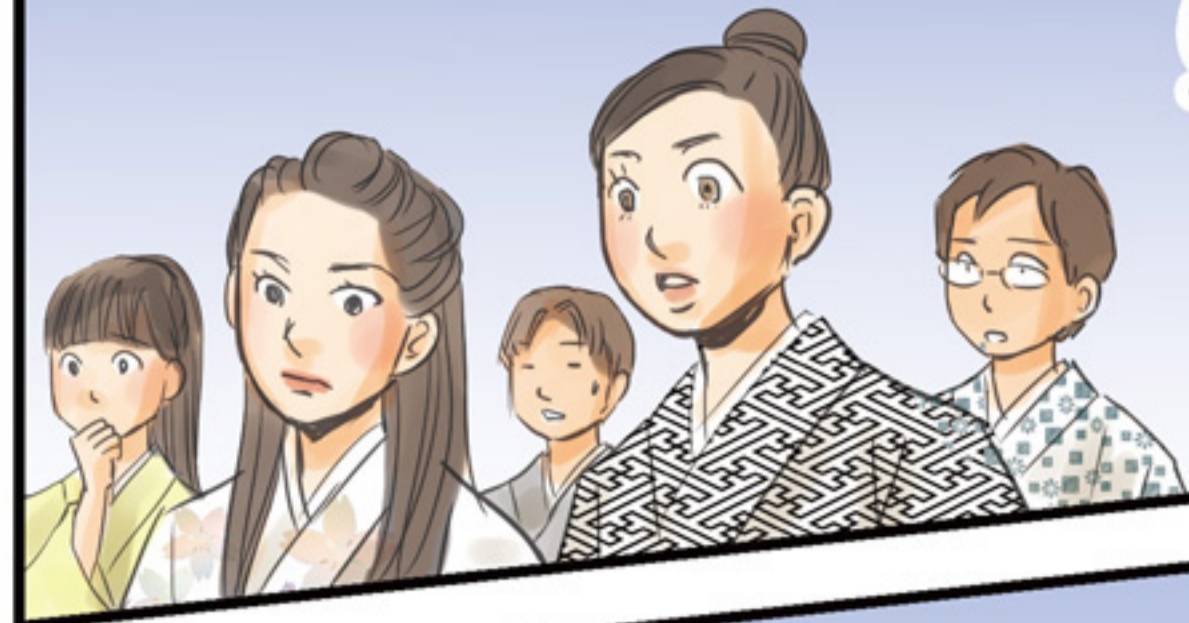
俺の実力を
海外で
発揮できる

ひゃっほー
ミカゴー!!

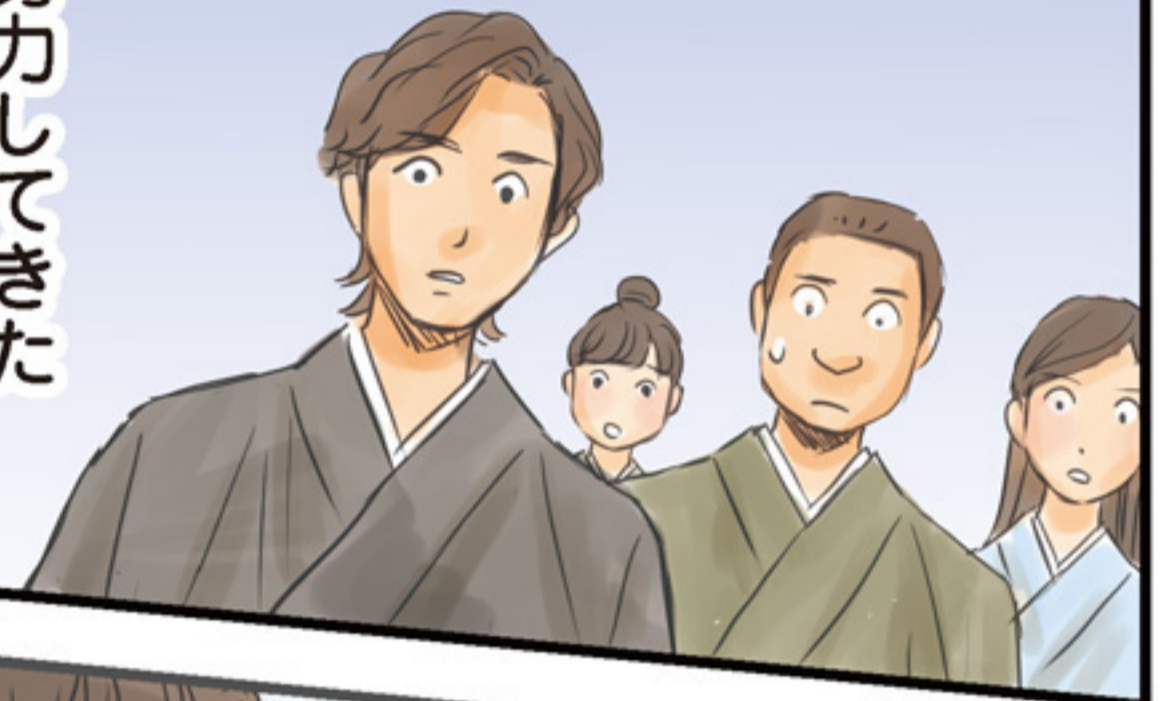
念願の
晴れ舞台を前に
自分の道に
迷いはない



アメリカ公演を
控えていて

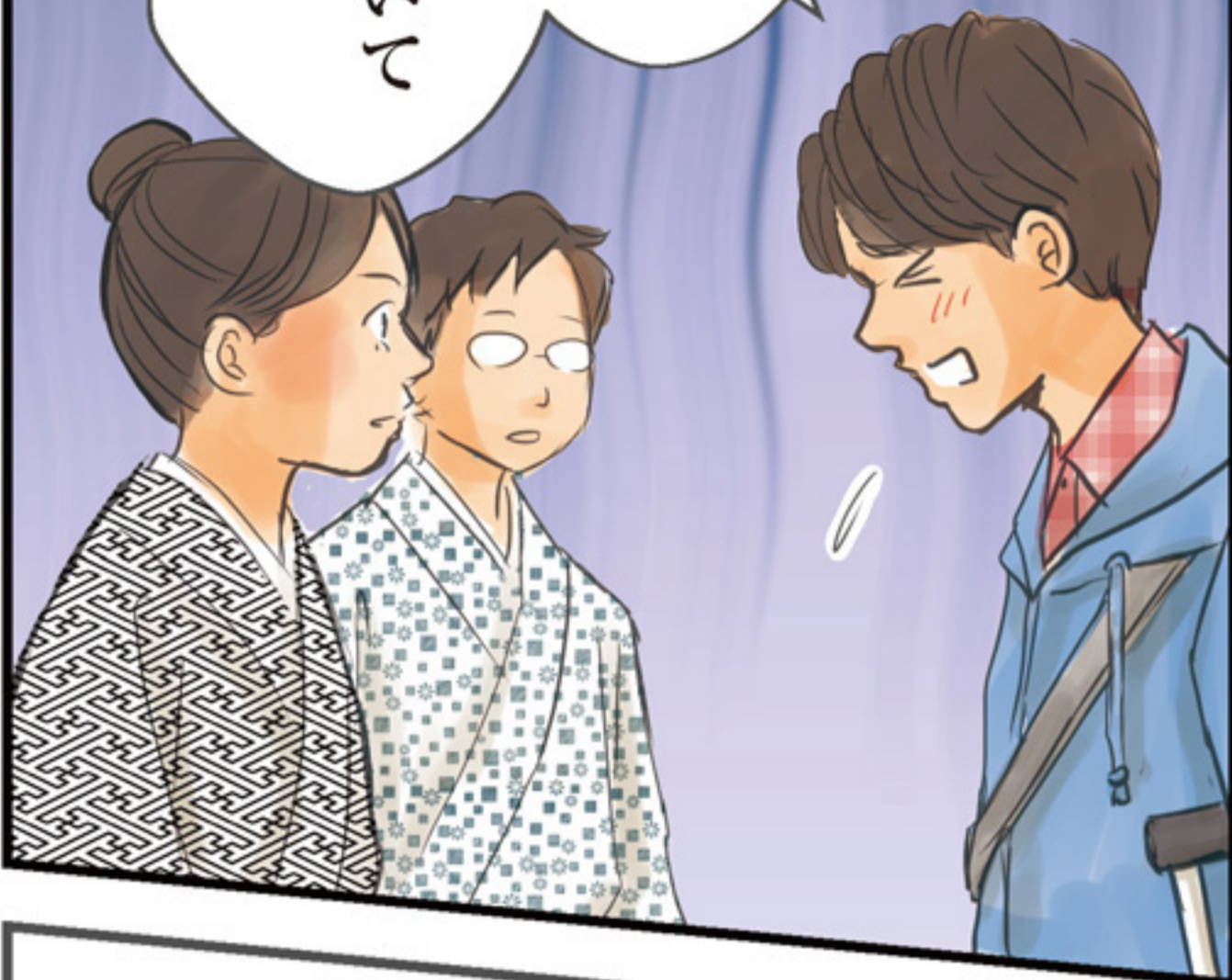


努力してきた
スーパーチームの
みんなに…

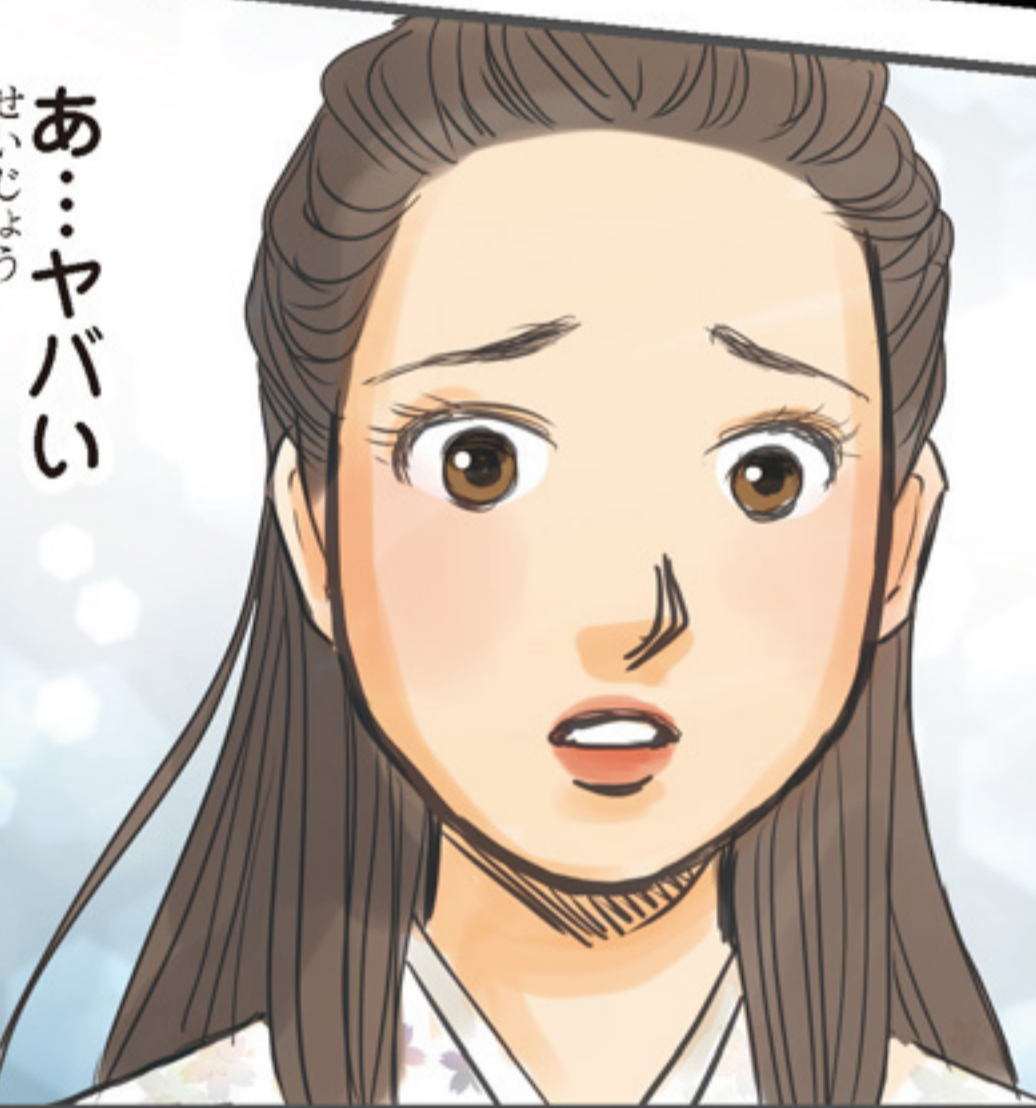


サッカーの
試合で

足をくじいて
しまい…

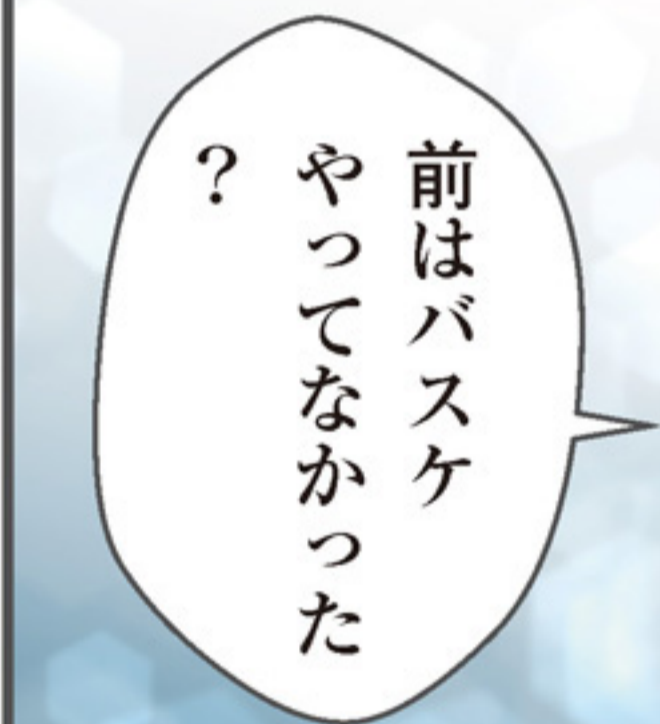


サッカー？



あ…ヤバイ
星城さん
そんなきれいな顔で
怒らないで…

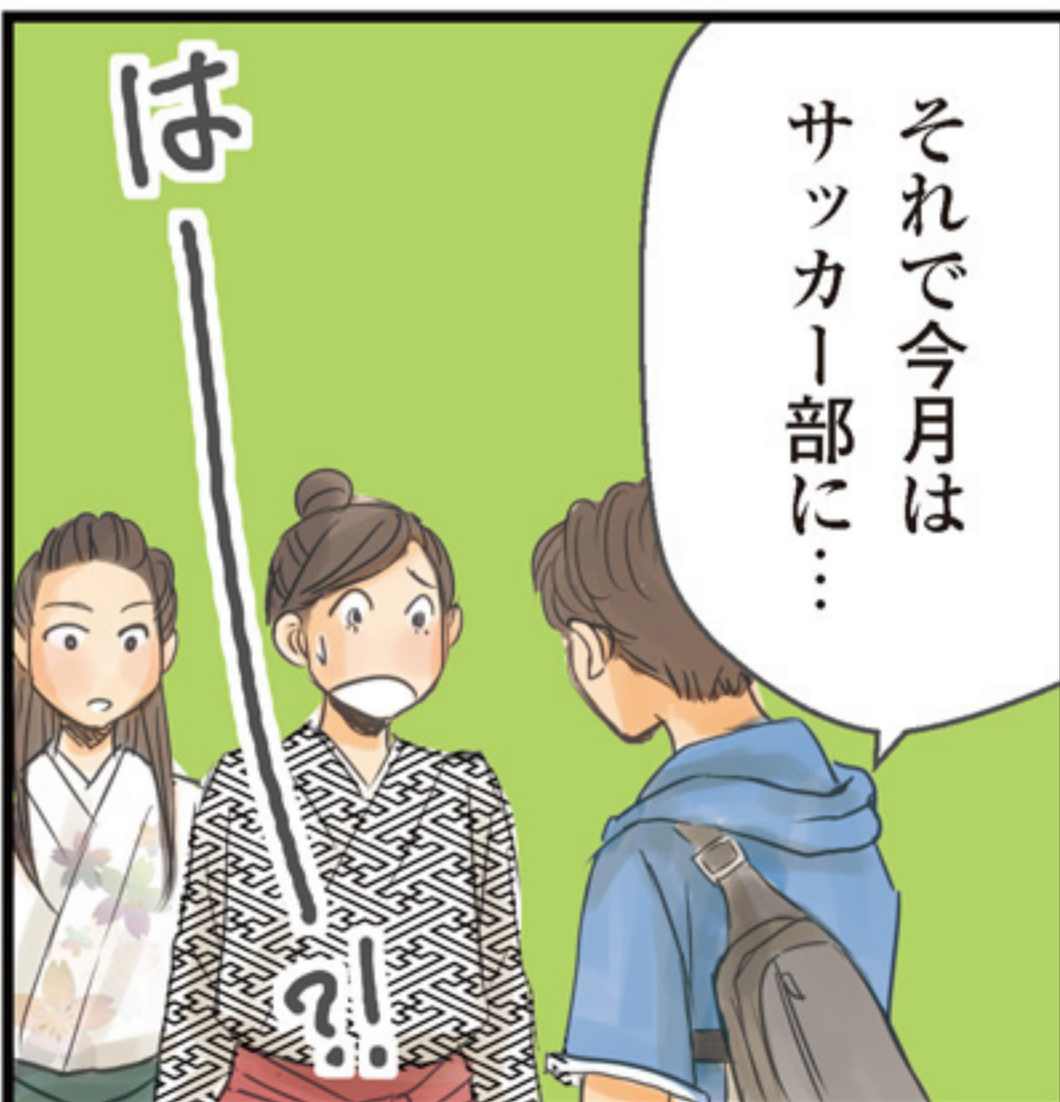
前はバスケ
やってなかった
？



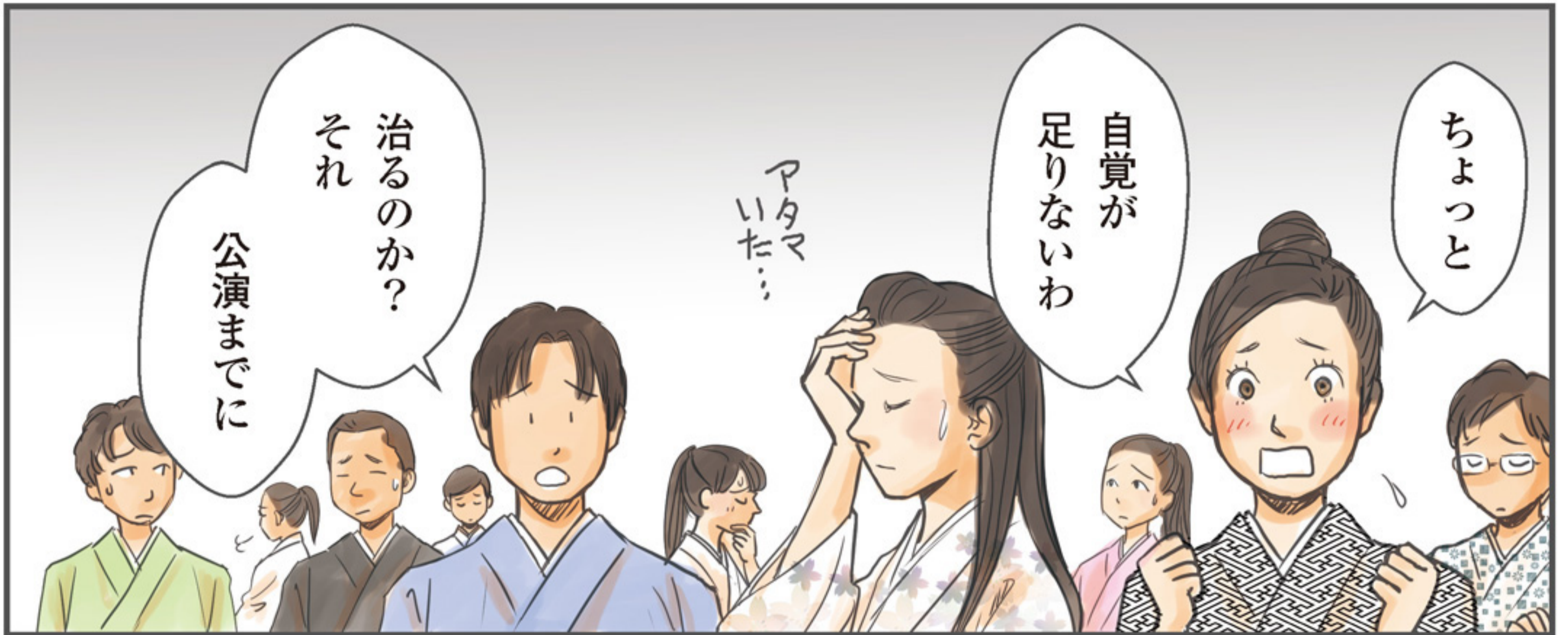
はあ…俺
運動神経いいから
高校でいろんな部から
助っ人に出てくれって
言われるんです

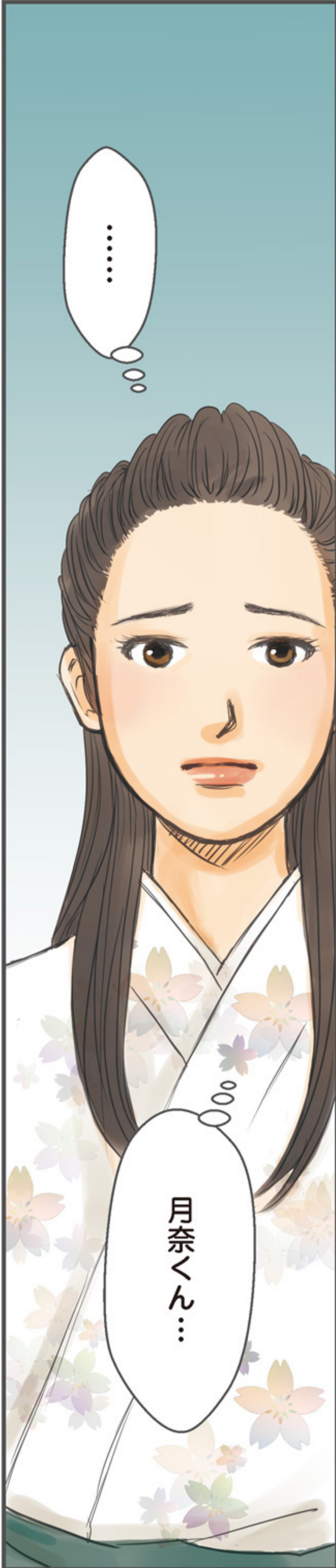


それで今月は
サッカー部に…



は





.....

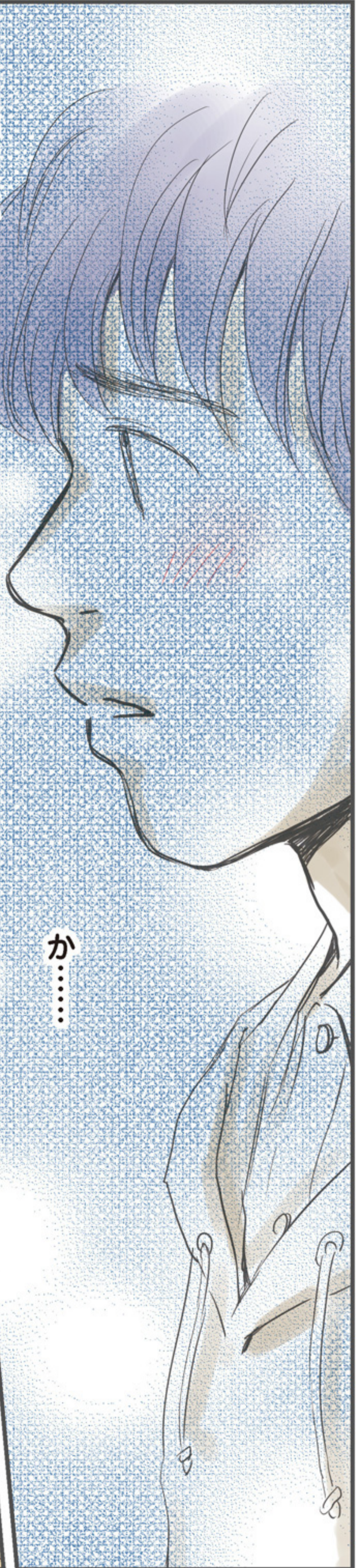
月奈くん...



俺このまま素直に
家を継いでいいのかなって

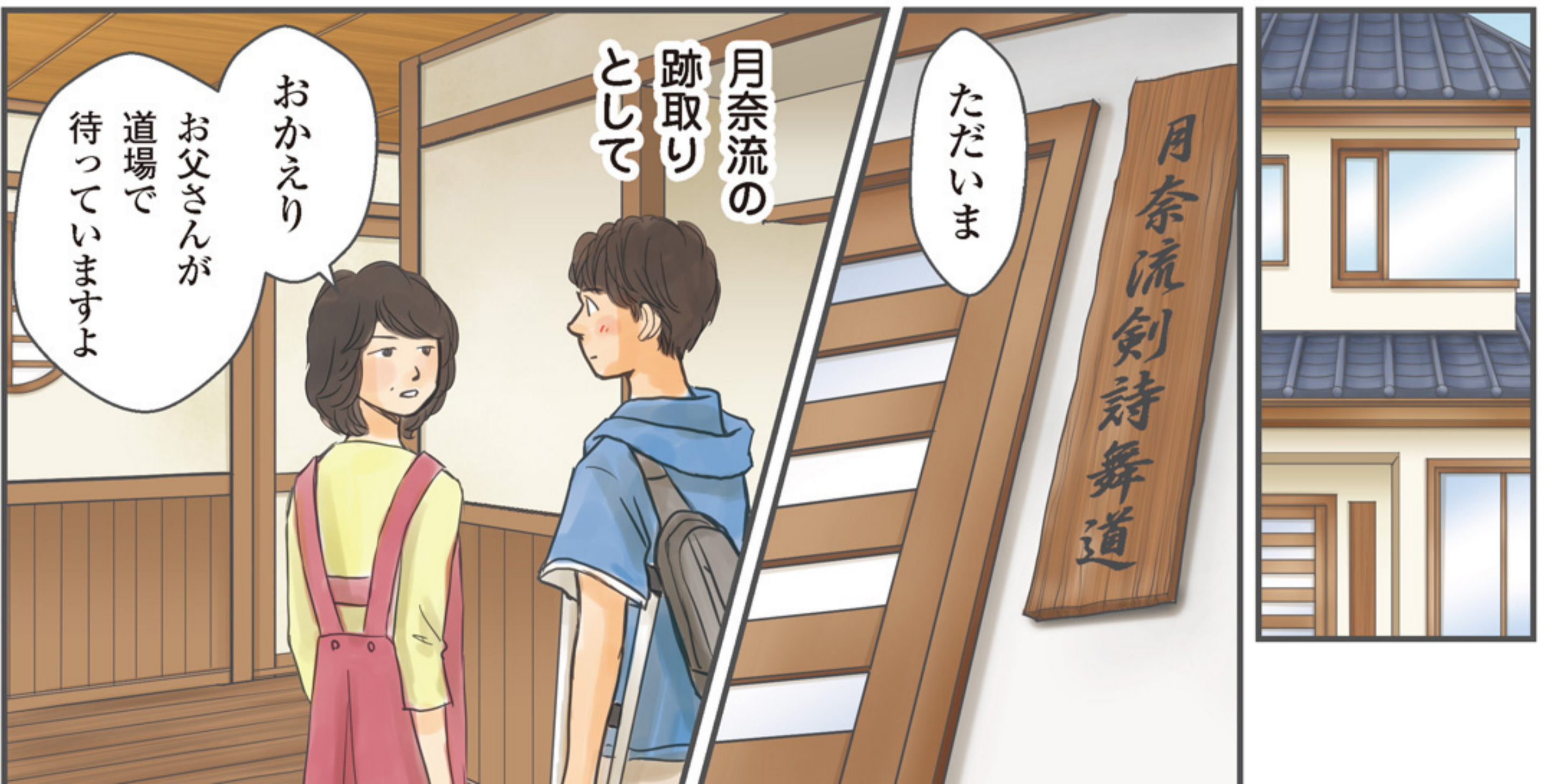
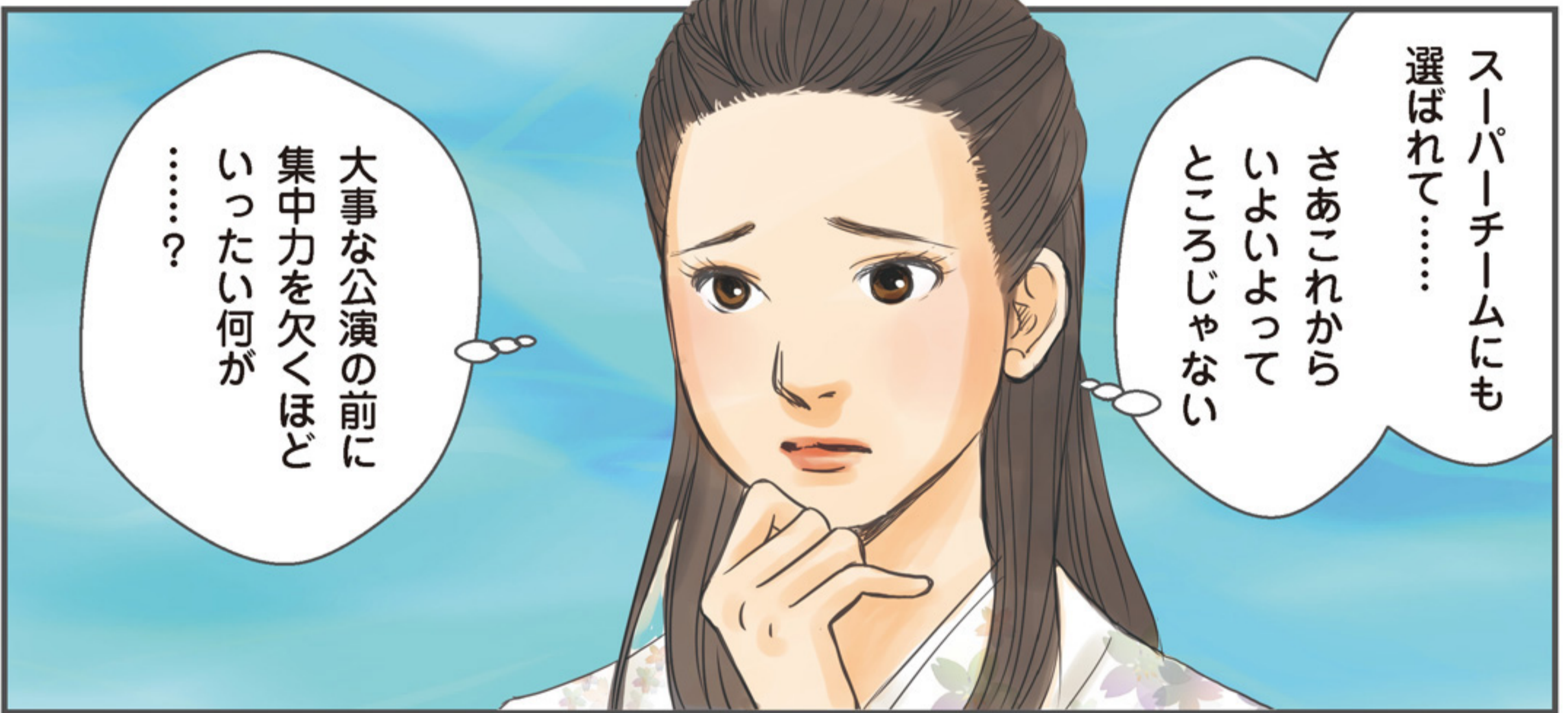
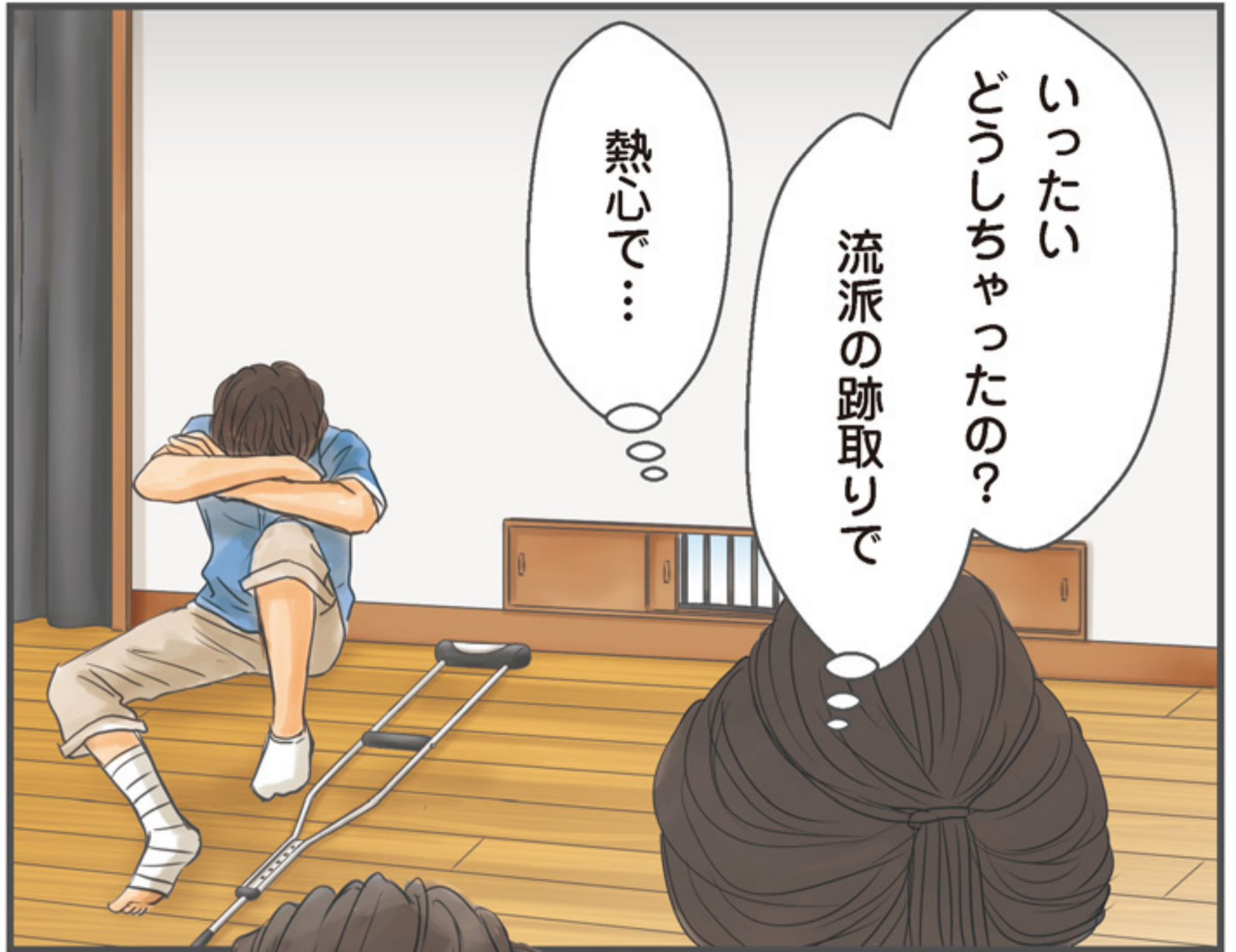
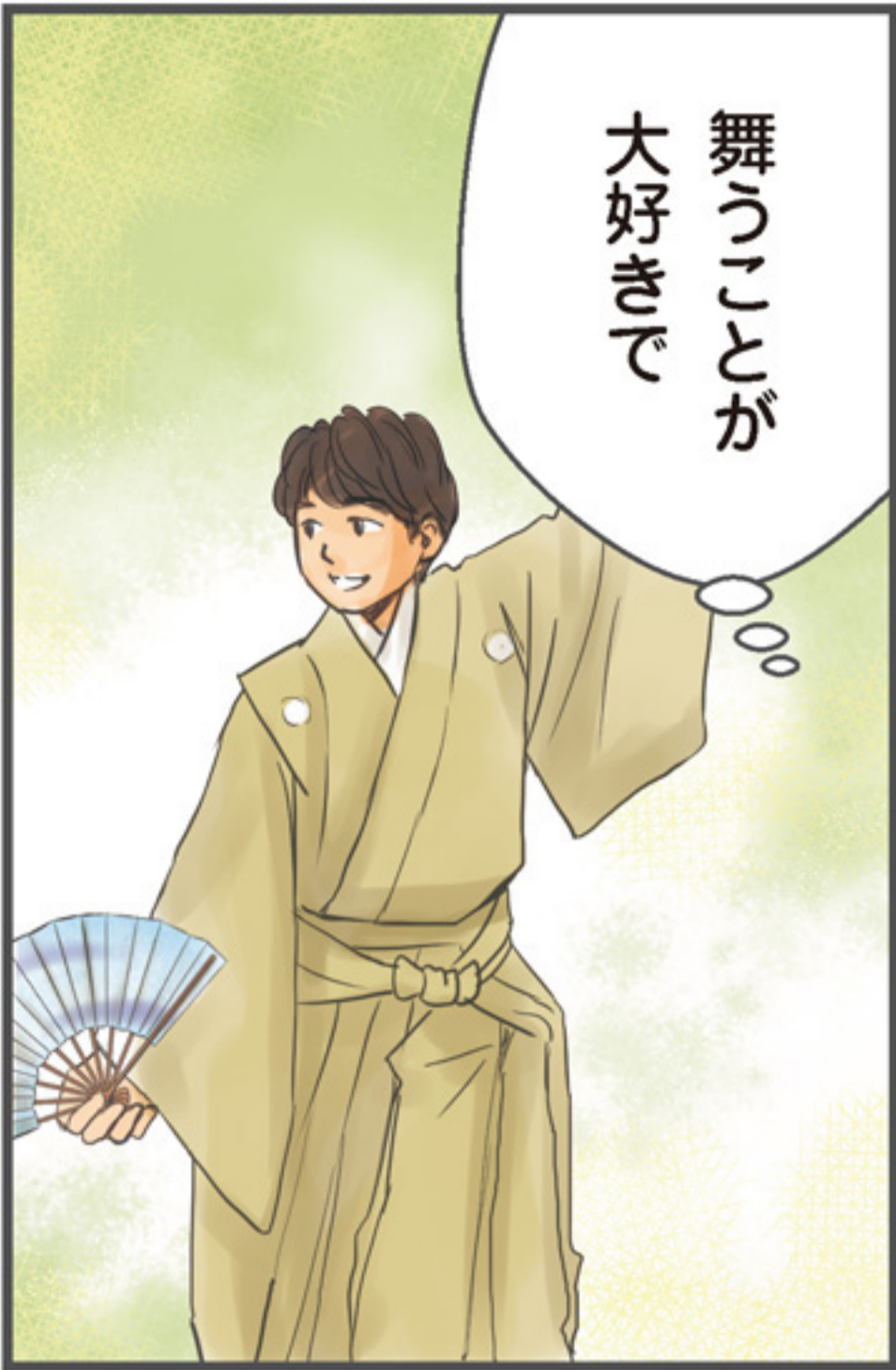
あのとき

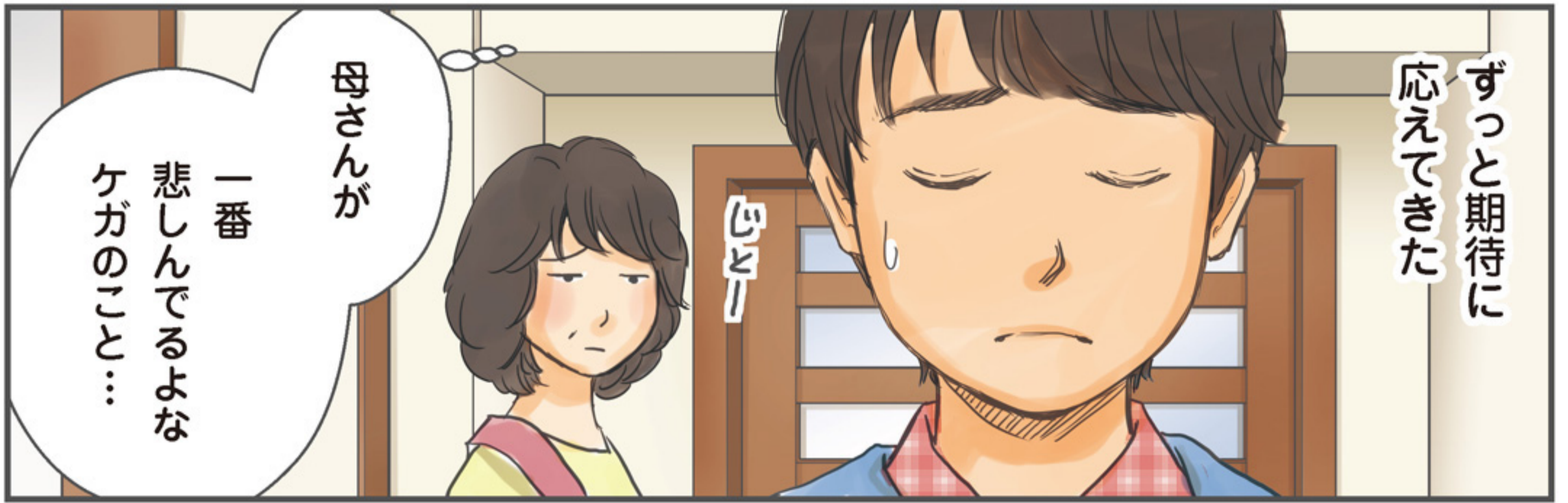
迷ったから——



迷ったから

か.....





ずっと期待に
応えてきた

じとー

母さんが

一番
悲しんでるよな
ケガのこと…



いえ…とりあえず
見学してると
言われました

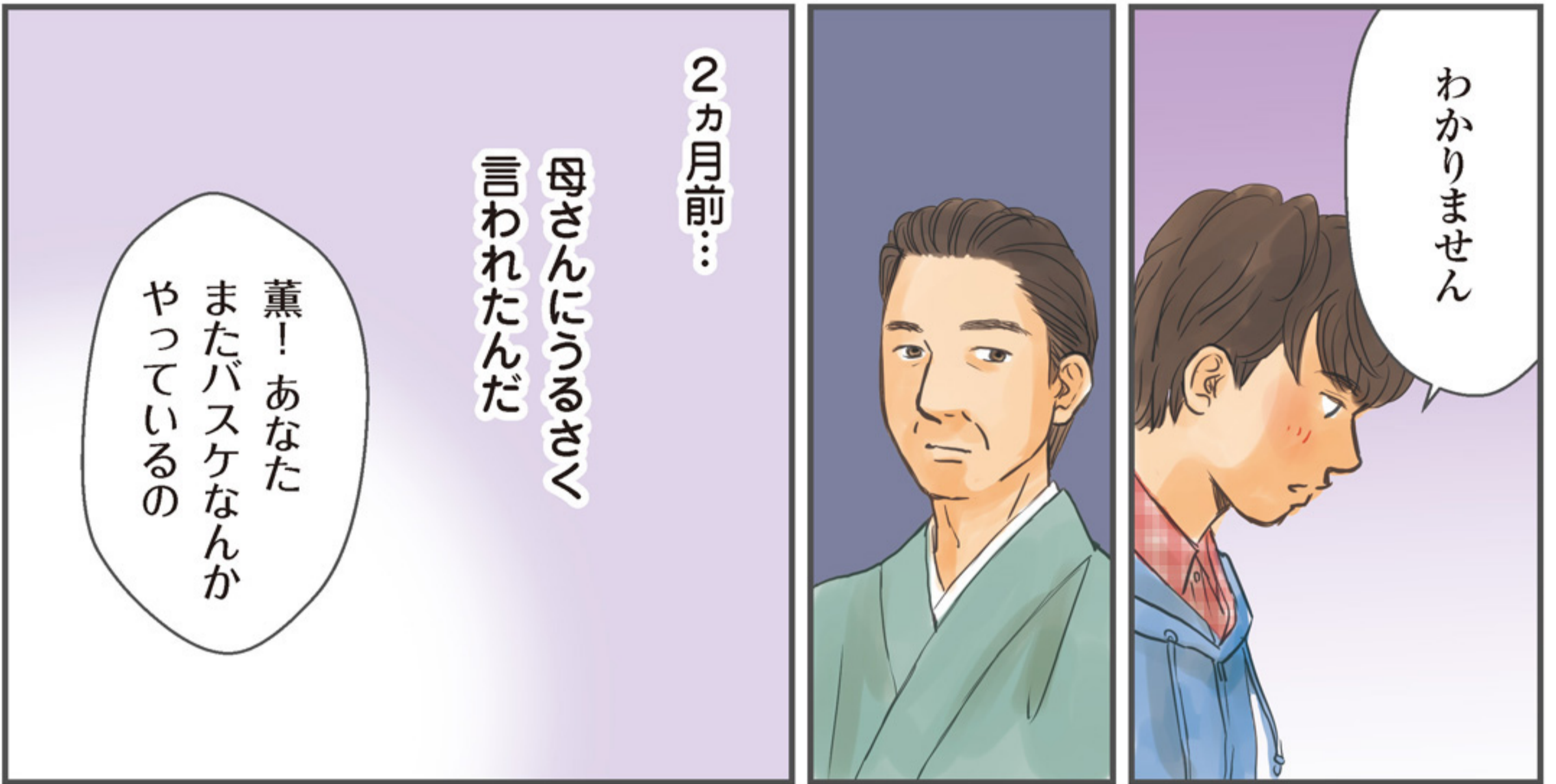


スーパーチームは
クビになったか



はじめて親を
がっかりさせた

失礼します



アメリカ公演も
控えているん
ですからね！

道場に入ったら
今度は宗家に
こう言われた

どうした？
剣先に迷いが
生じている

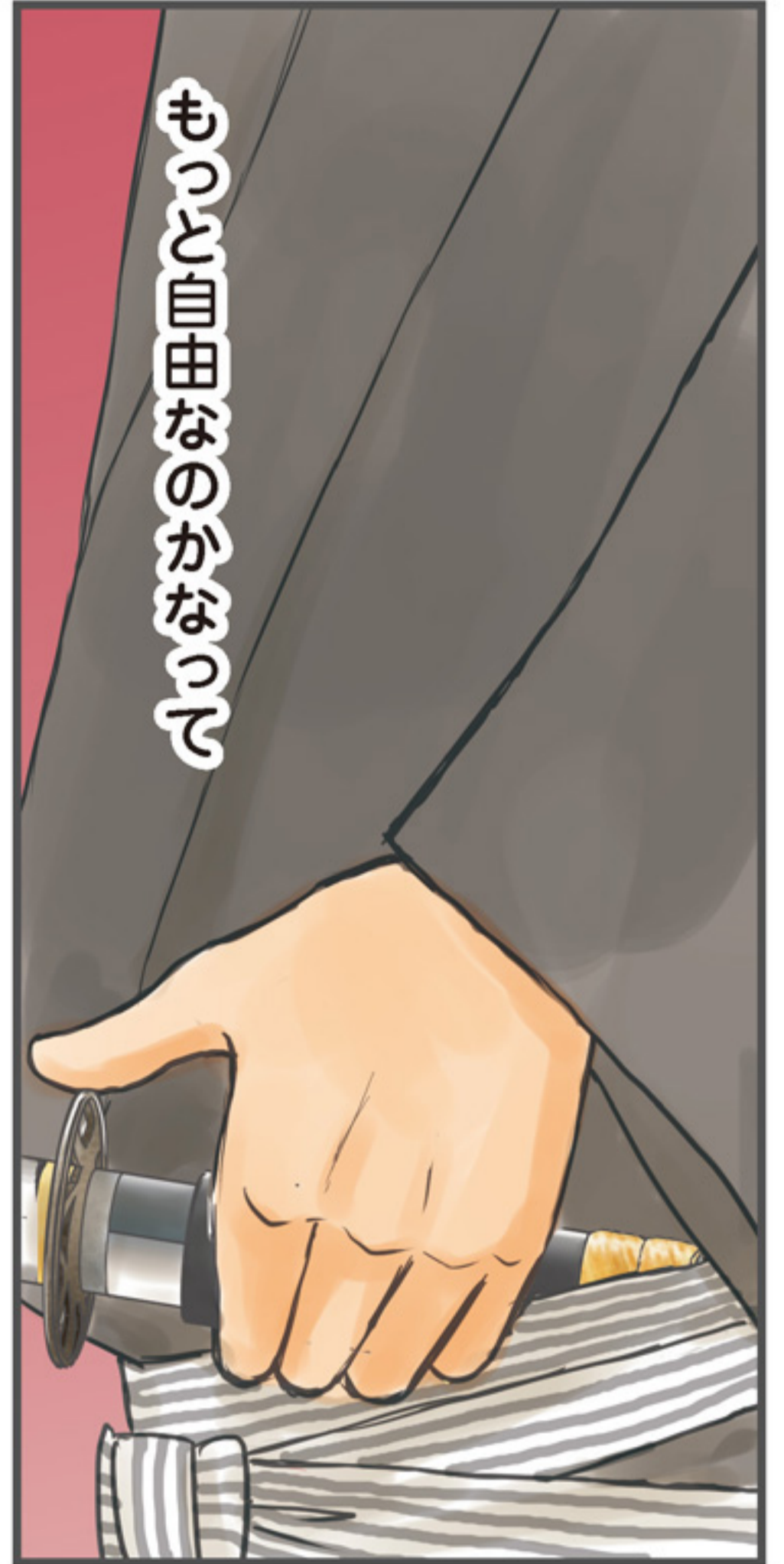
：別に無茶
なんか
しないよ！

ムカ〜

悩んでいたことを
見透かされた

バスケットは楽しい
サッカーも

もし
パラレルワールドがあって
剣詩舞をやってない
人生があったら



もっと自由なのかなって



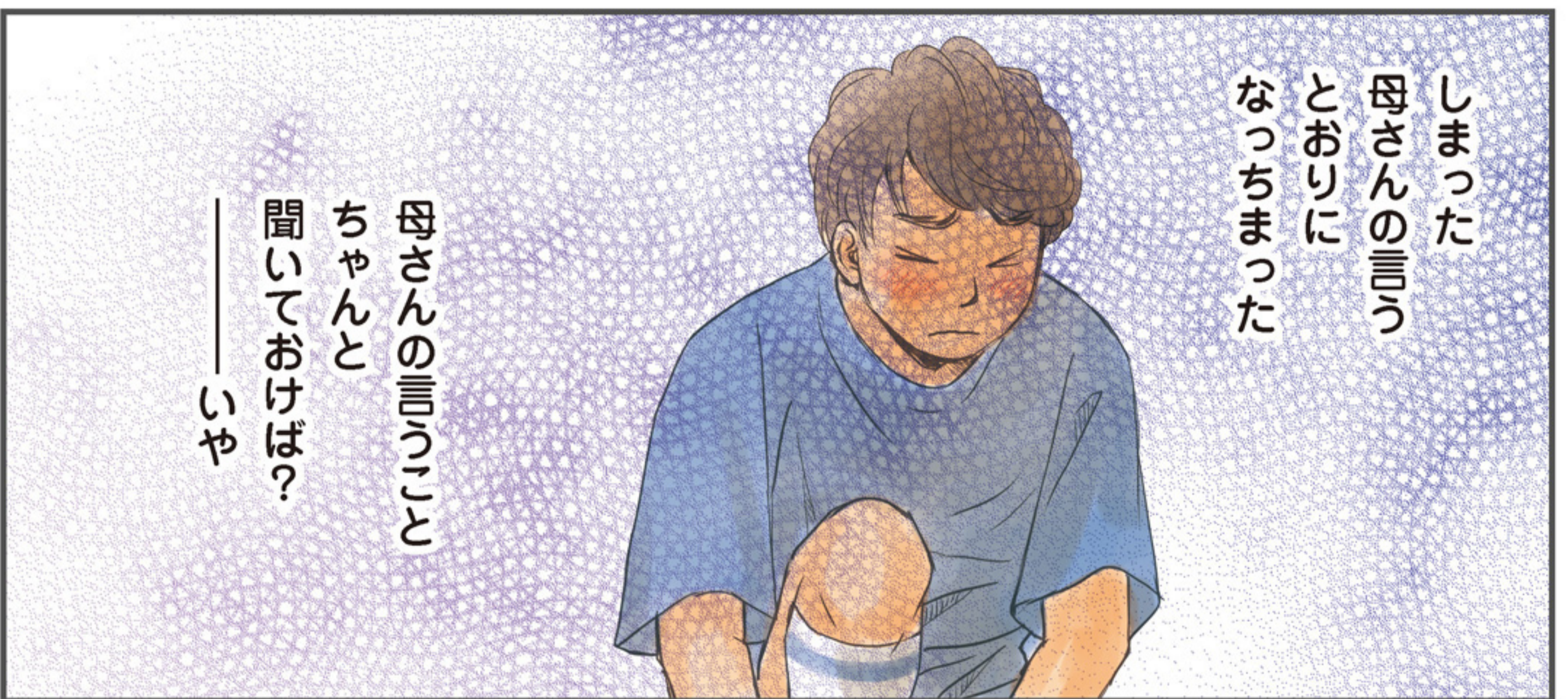
つい考えてしまった

…俺は籠の中の鳥なのかと…



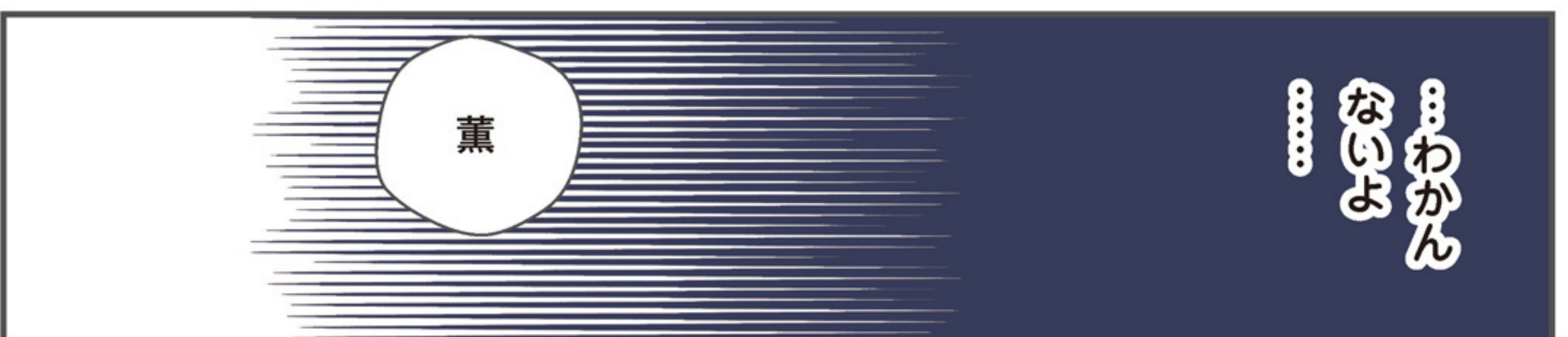
数日後

考え込んでいたらケガをした



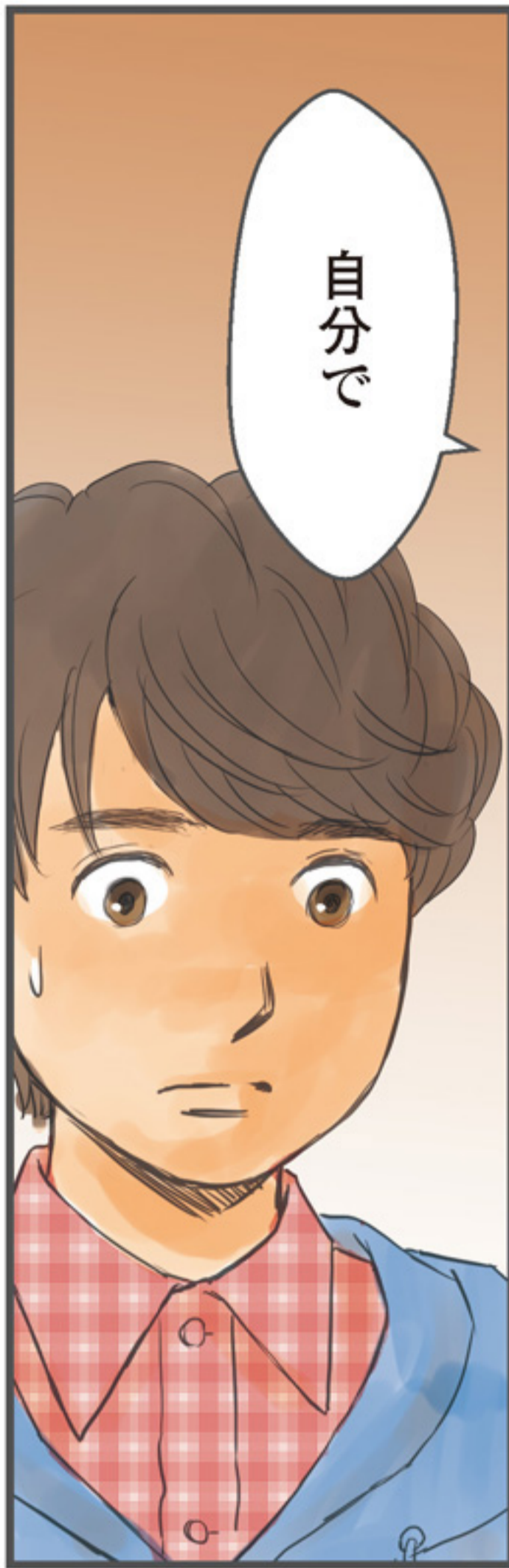
しまった
母さんの言う
とおりに
なっちまった

母さんの言うこと
ちゃんと
聞いておけば？
——いや



薫

…わかん
ないよ…



自分で

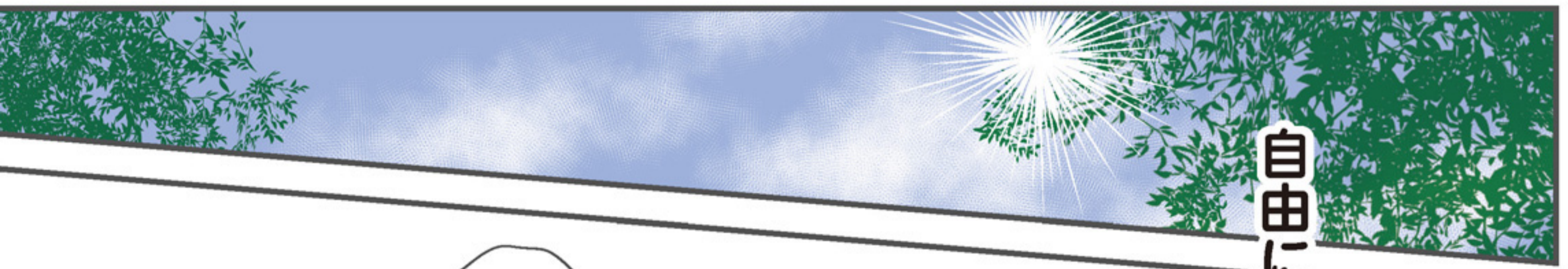


剣詩舞の道に
迷いがあったのなら

納得いくまで
考えなさい



人生は長い



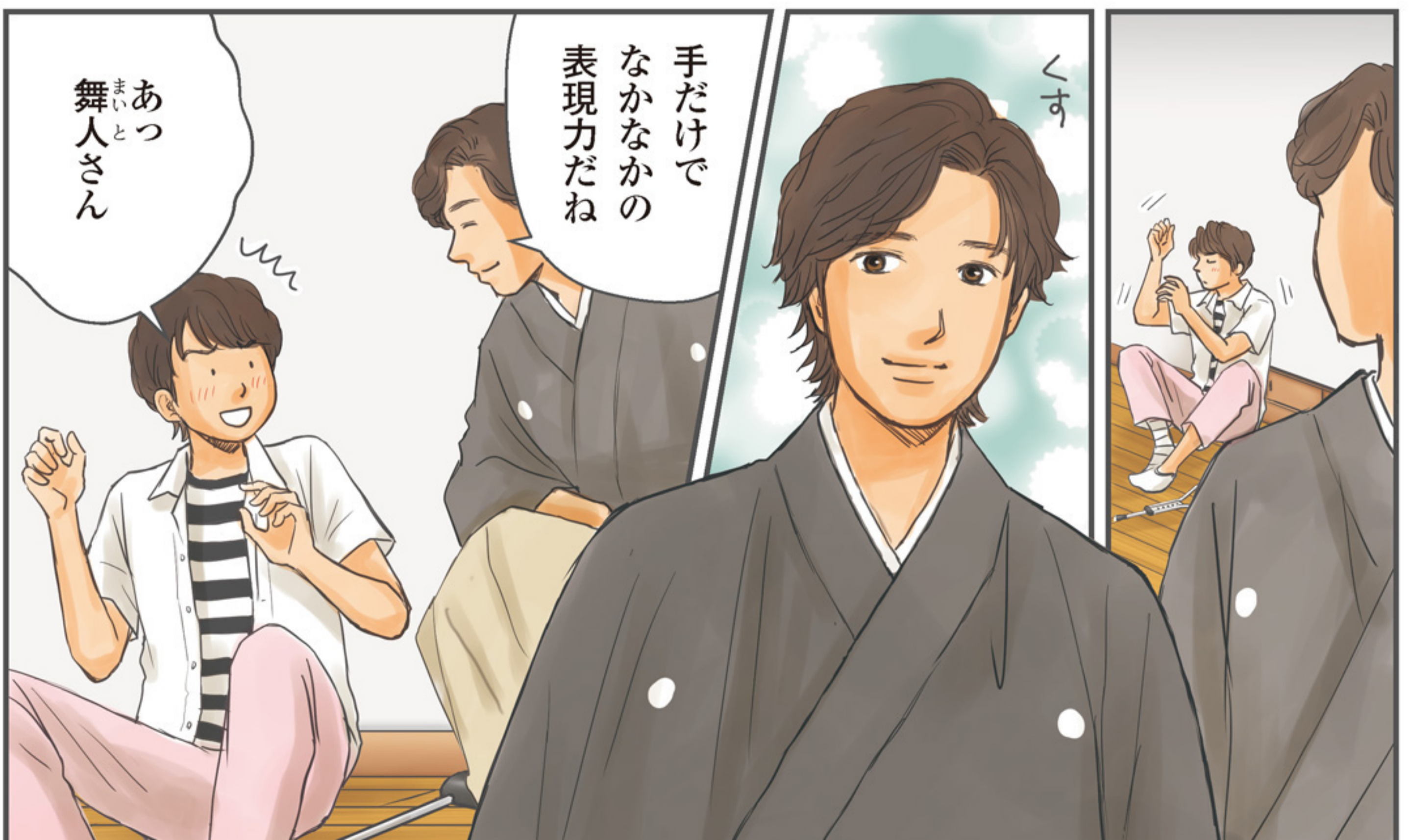
自由に

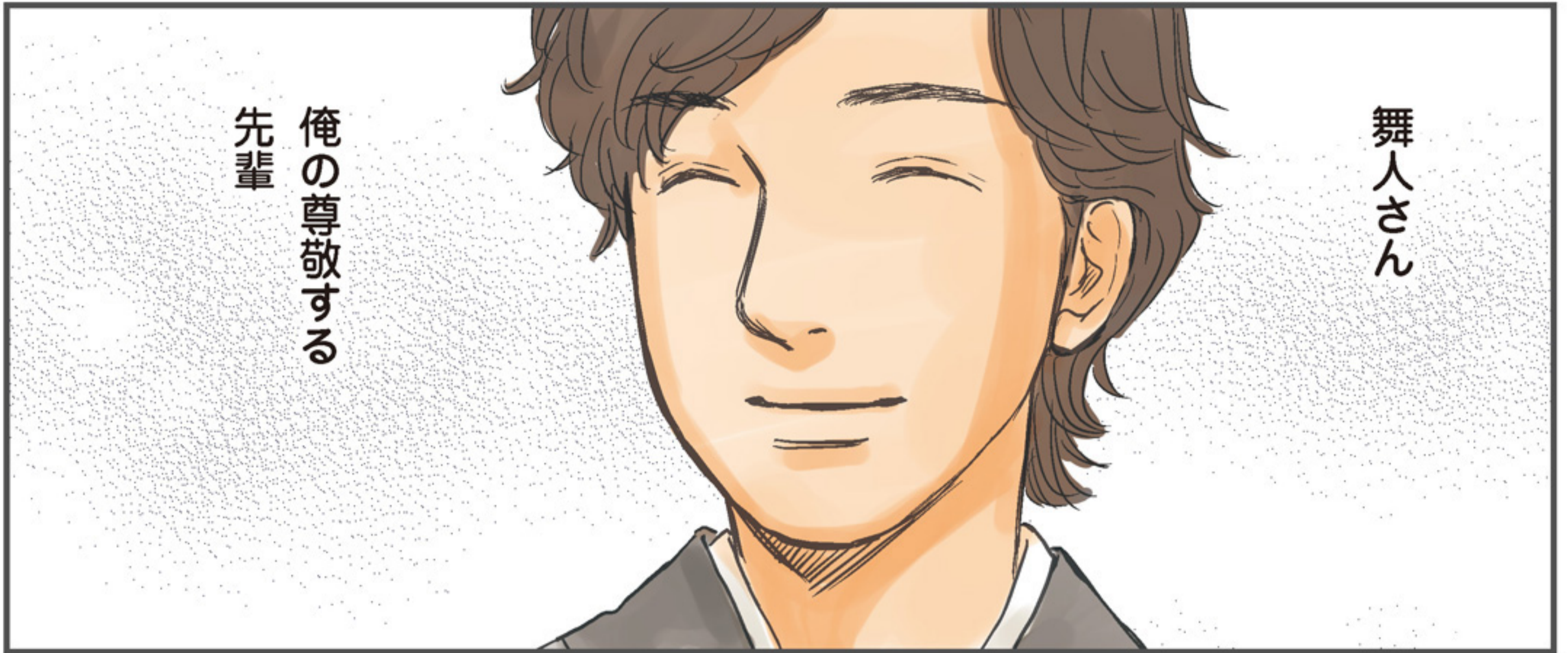


宗家は…

「やれ」とも
「やめろ」とも
言わないんだ…







舞人さん

俺の尊敬する
先輩



舞人さんも？

そりゃあ
いろいろ
あるさ

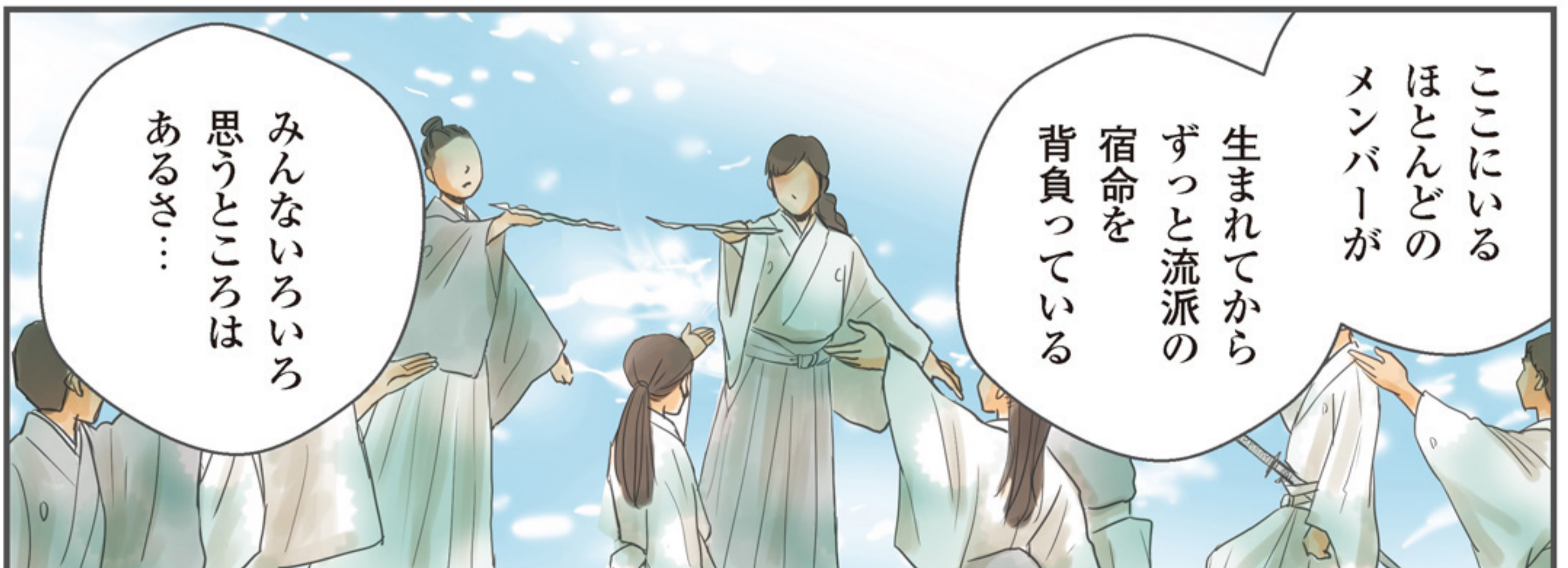


あるよ

えっ



え？この道に
迷ったことが
あるかって？



生まれてから
ずっと流派の
宿命を
背負っている

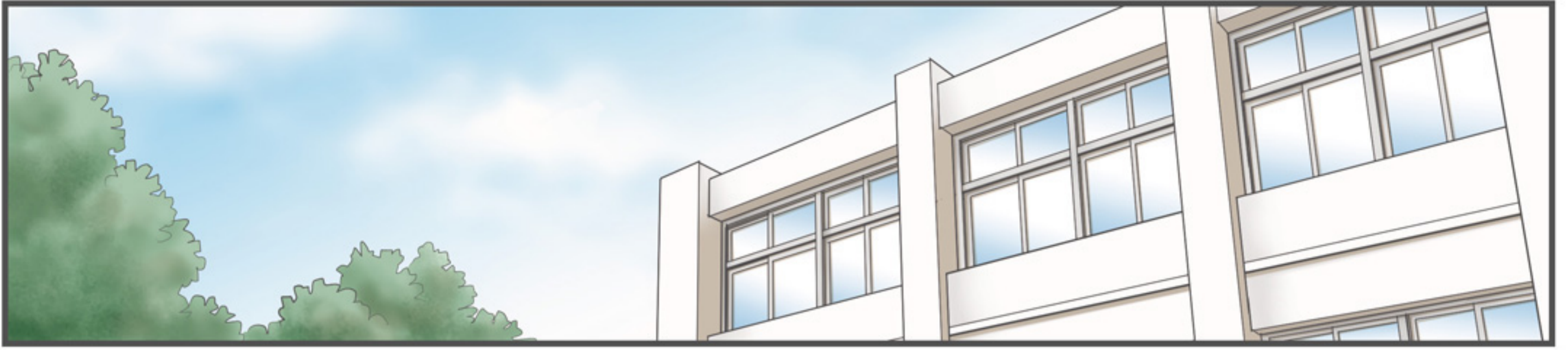
ここにいる
ほとんどの
メンバーが

みんないろいろ
思うところは
あるさ…



結局
吟詠や剣詩舞が
好きなんだ

いろいろ
悩んだけど



望んで
やったことだし

そんな



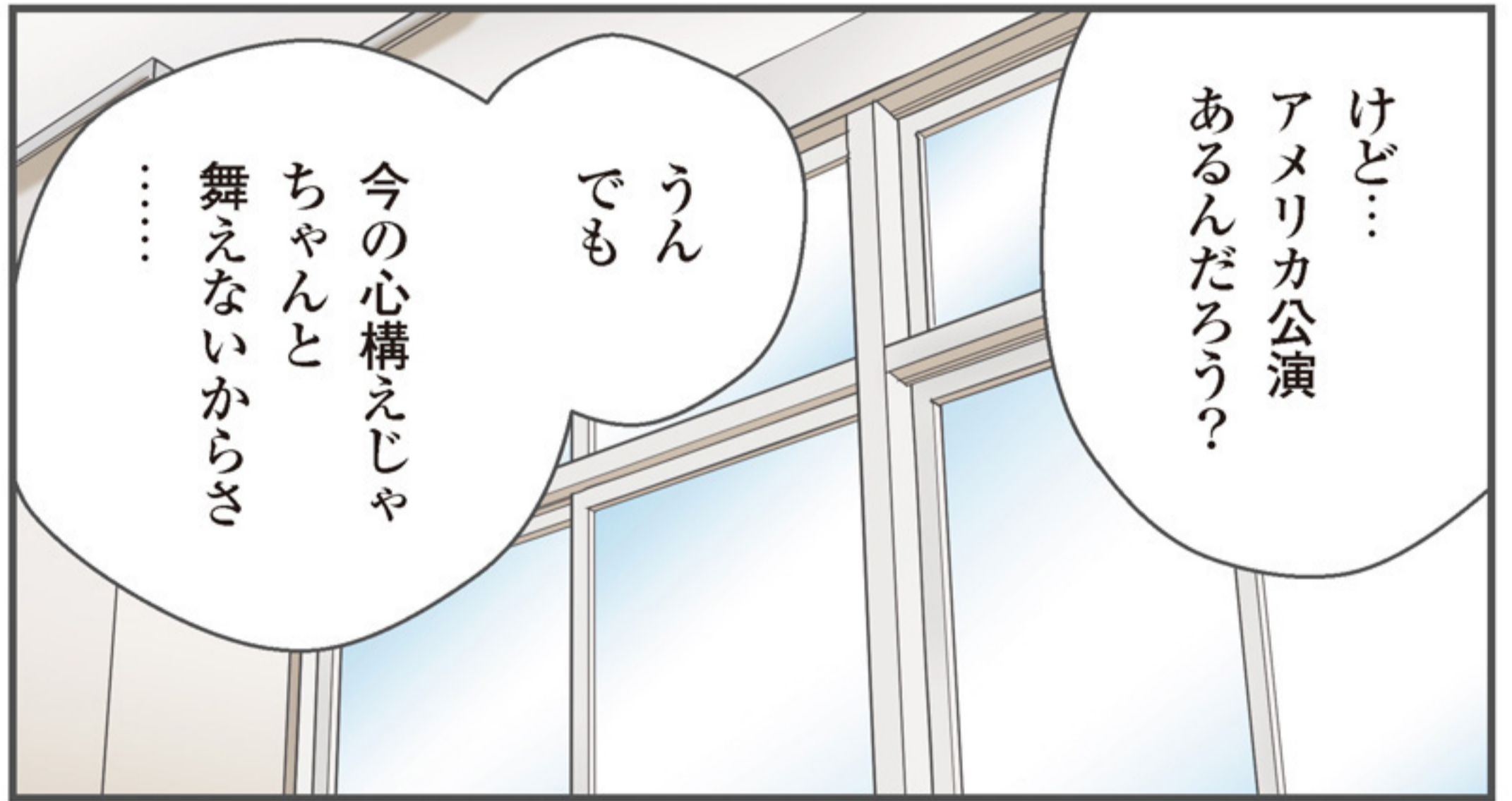
月奈
ごめんっ

俺がサッカーに
誘ったばかりに
そんなケガ
させちゃって……!



!!

ほ…本当ですか



けど…
アメリカ公演
あるんだろう？

うん
でも

今の心構えじゃ
ちゃんと
舞えないからさ
……



薫

振興会から
電話よ



え…？



星城さんがこちらまで
直談判に来られたん
ですよ

えっ？



ふんふん〜

俺…舞えない
のに……

アメリカ公演に
同行しても
いいんですか!?



絶対何かを
掴んで帰って
きますから

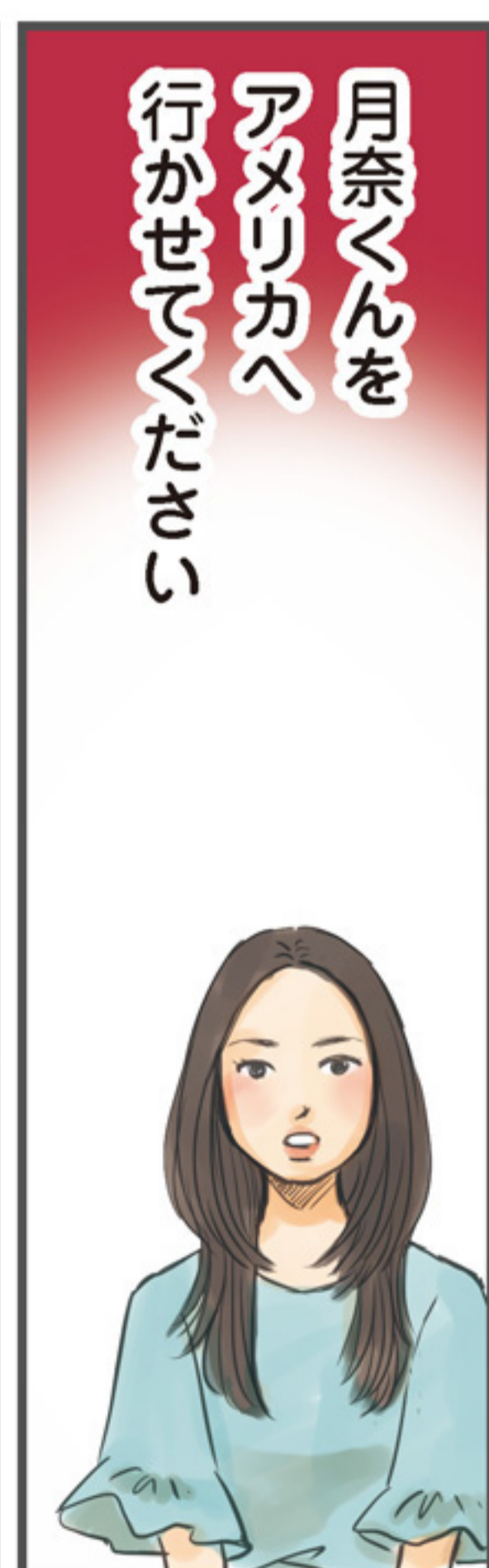


——
お願いします

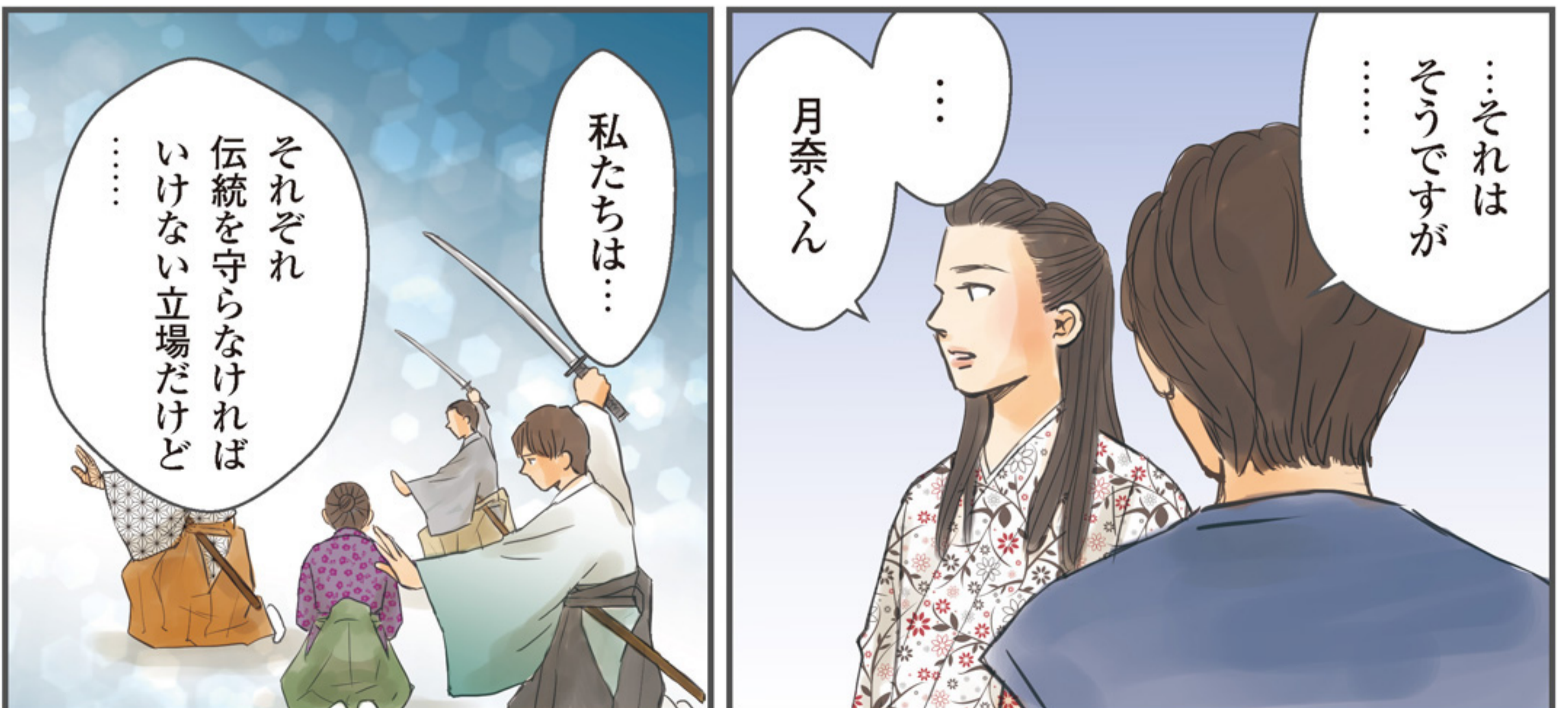
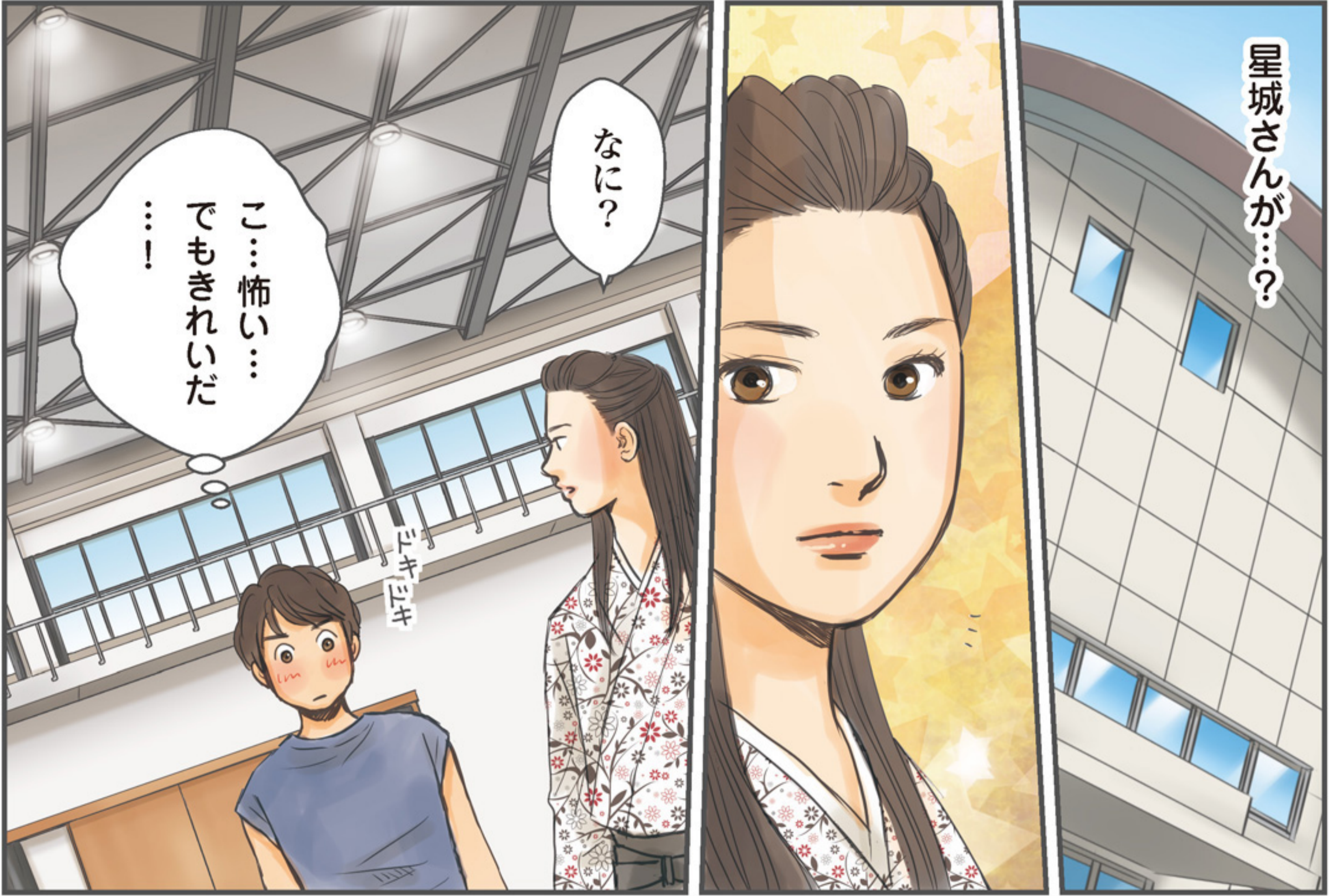


彼は大切な
若い才能です

ぜひ大きな舞台を
経験してほしい



月奈くんを
アメリカへ
行かせてください



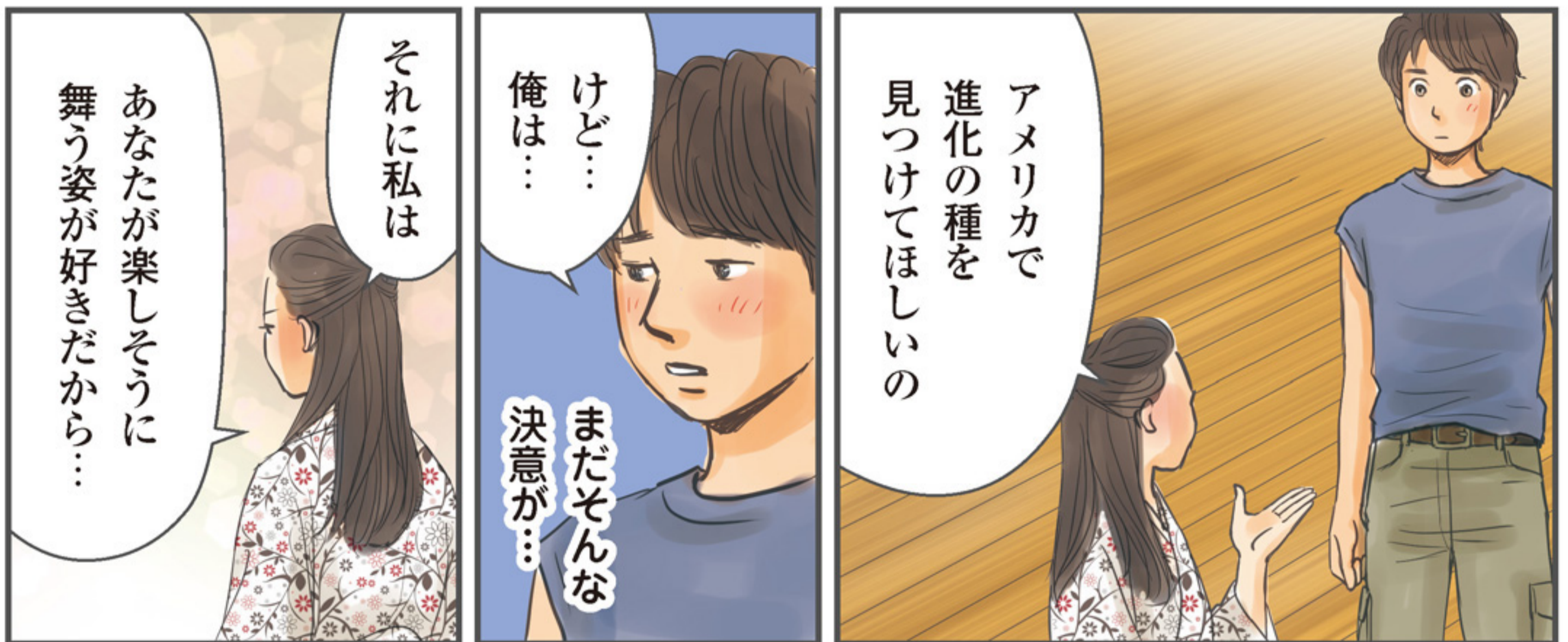


ただ伝統を
守っているだけでは
成長がない

新しい価値を
取り入れ続け
変化させる

スーパーチームは
まさにそういう
存在でもあるのよ

2016年10月日本武道館大会にて
津軽三味線・吉田兄弟と
スーパーチームのコラボレーション



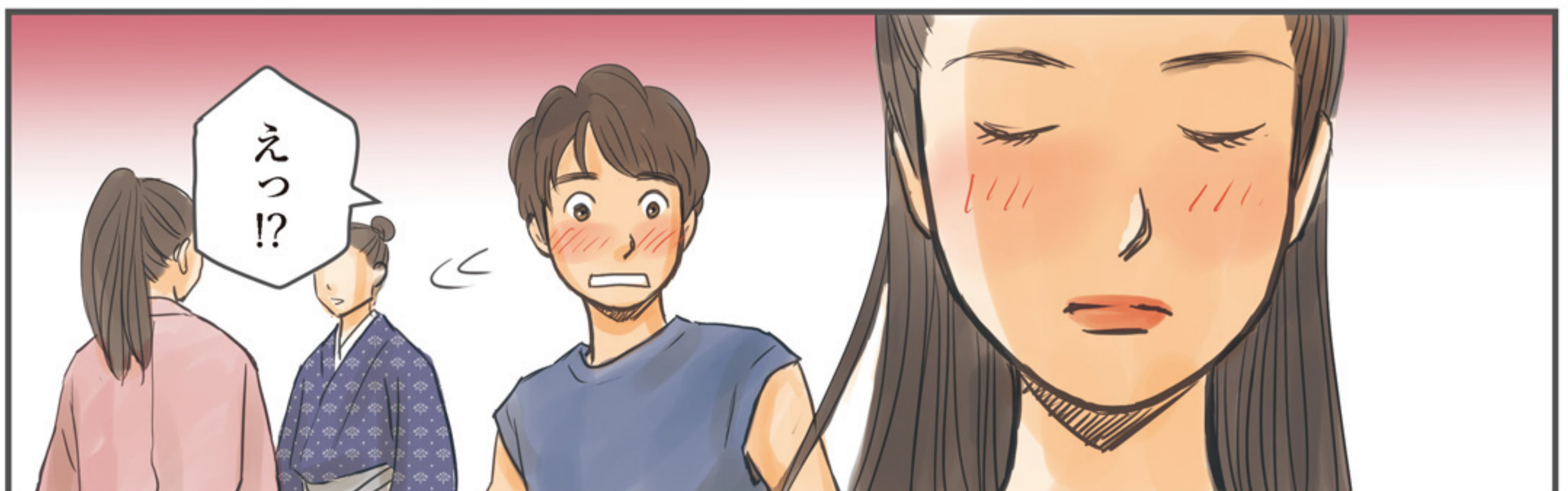
あなたが楽しそうに
舞う姿が好きだから…

それに私は

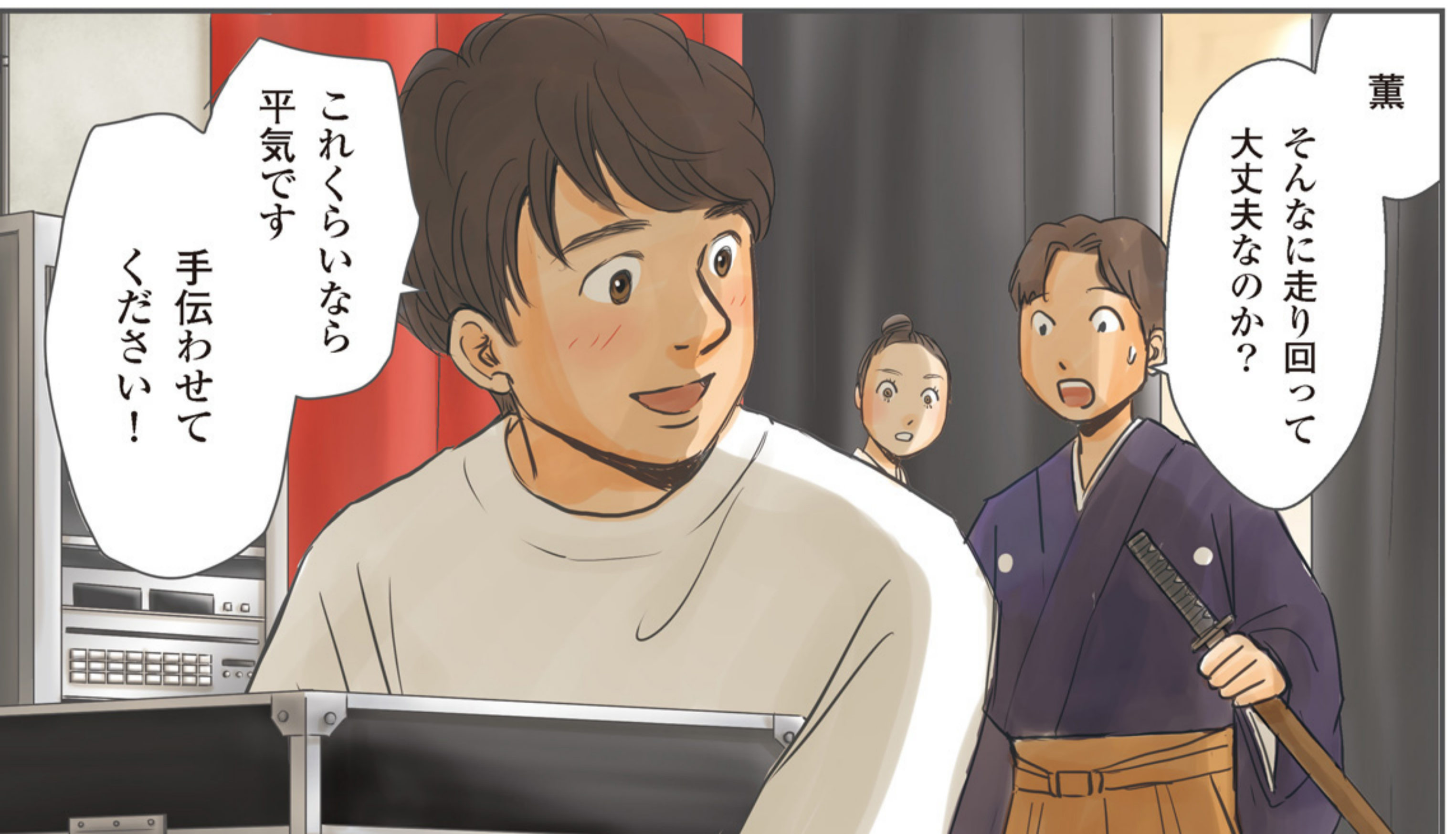
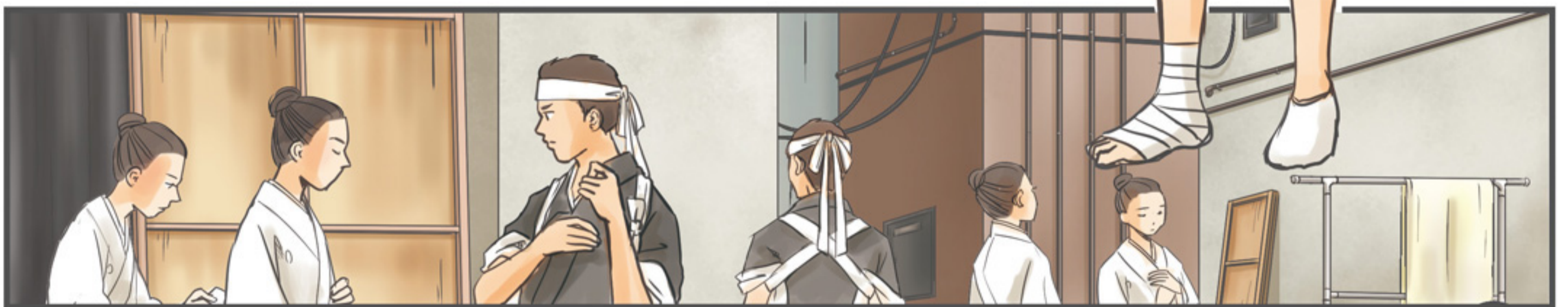
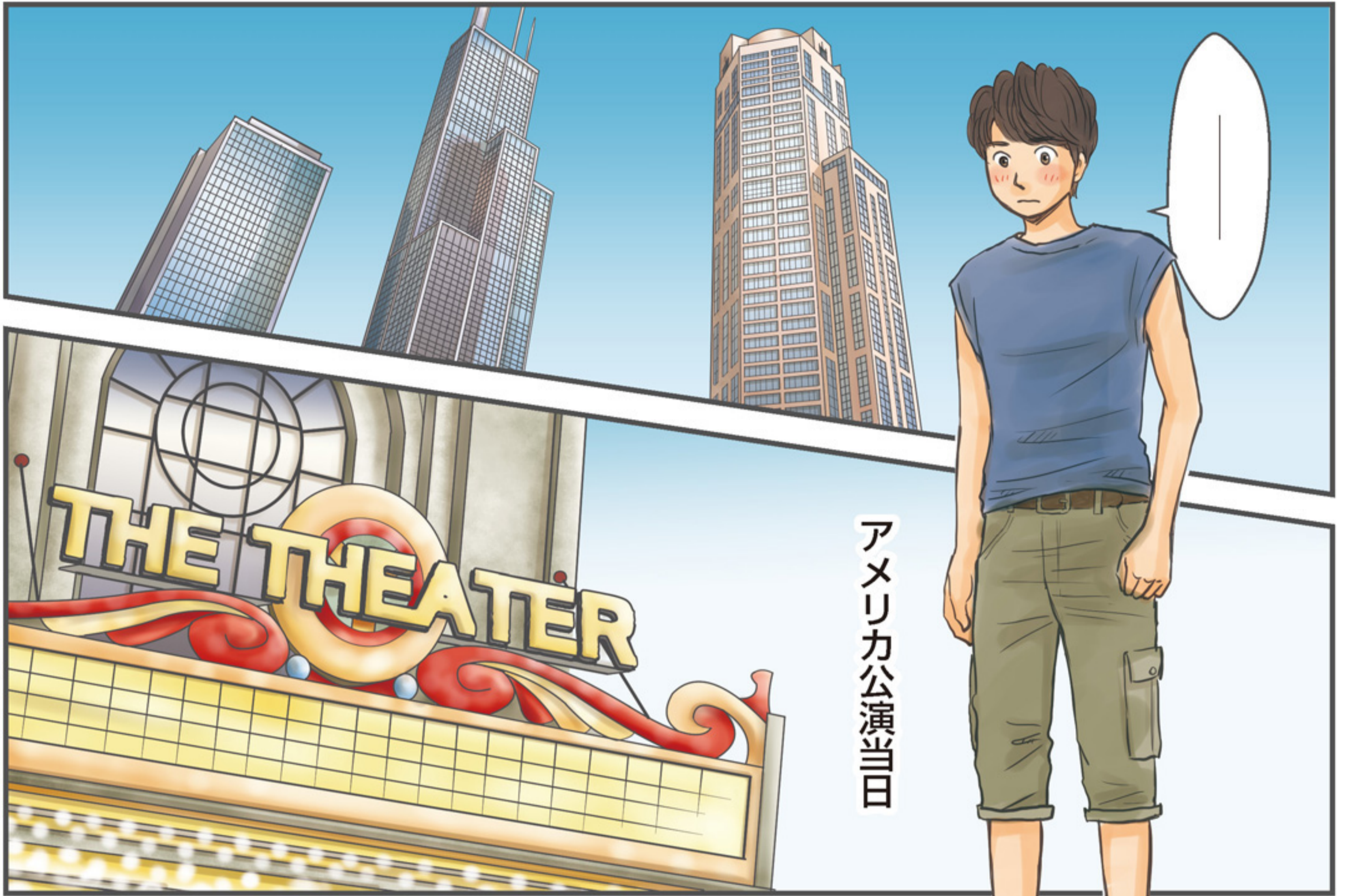
けど…
俺は…

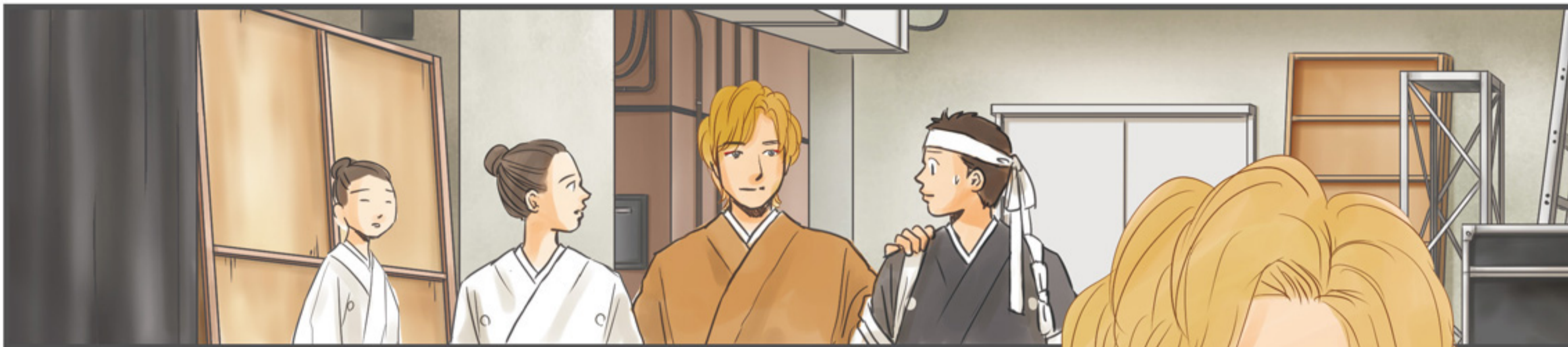
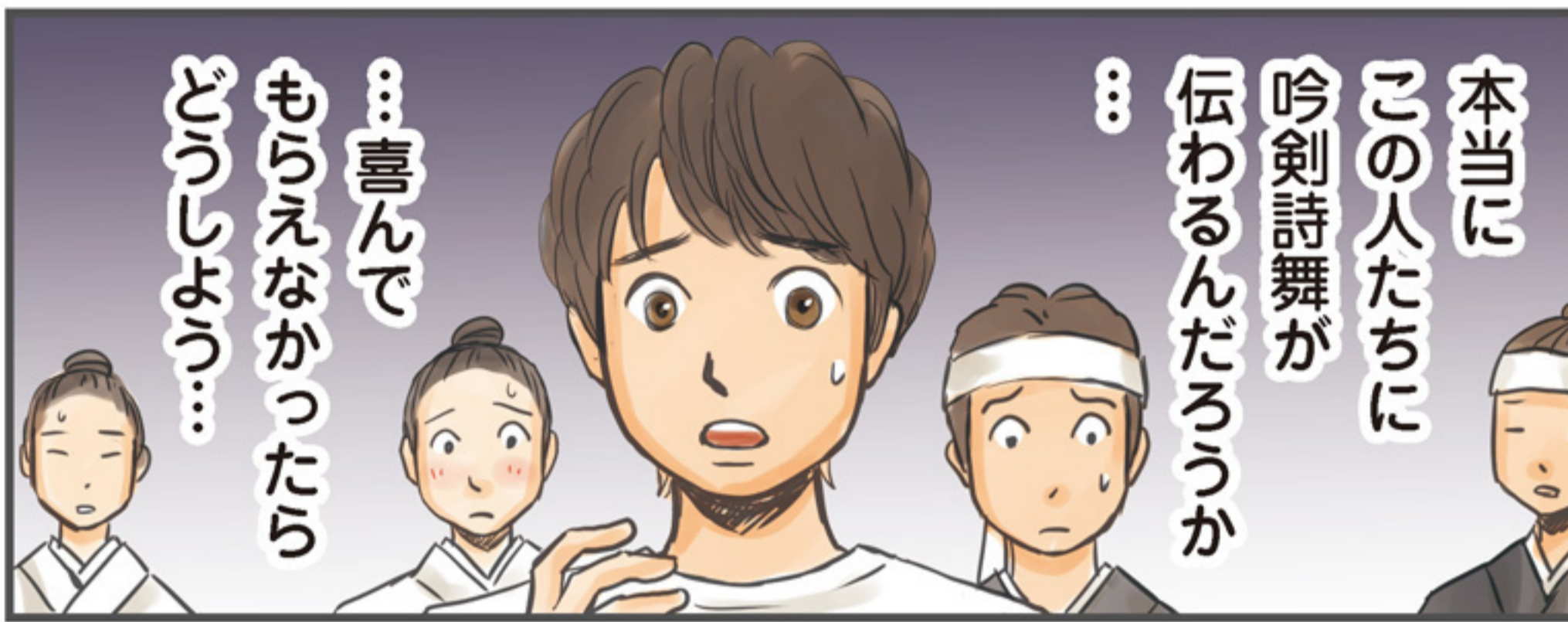
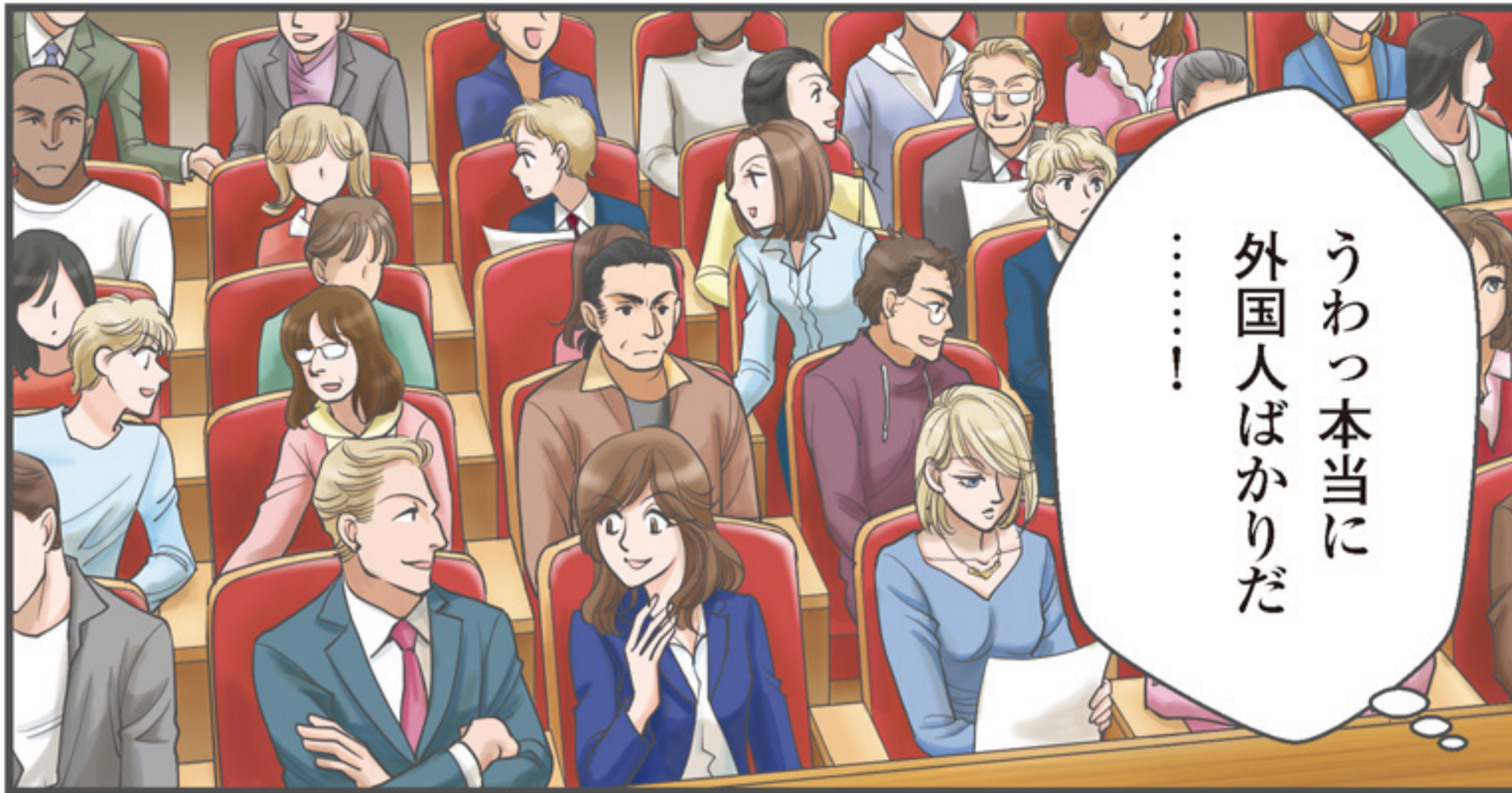
まだそんな
決意が…

アメリカで
進化の種を
見つけてほしいの



えっ!?







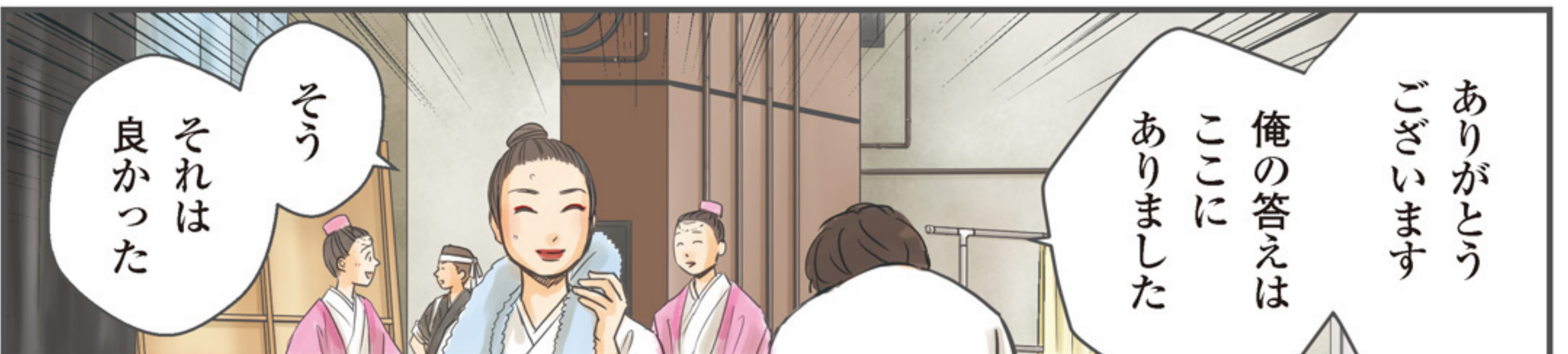
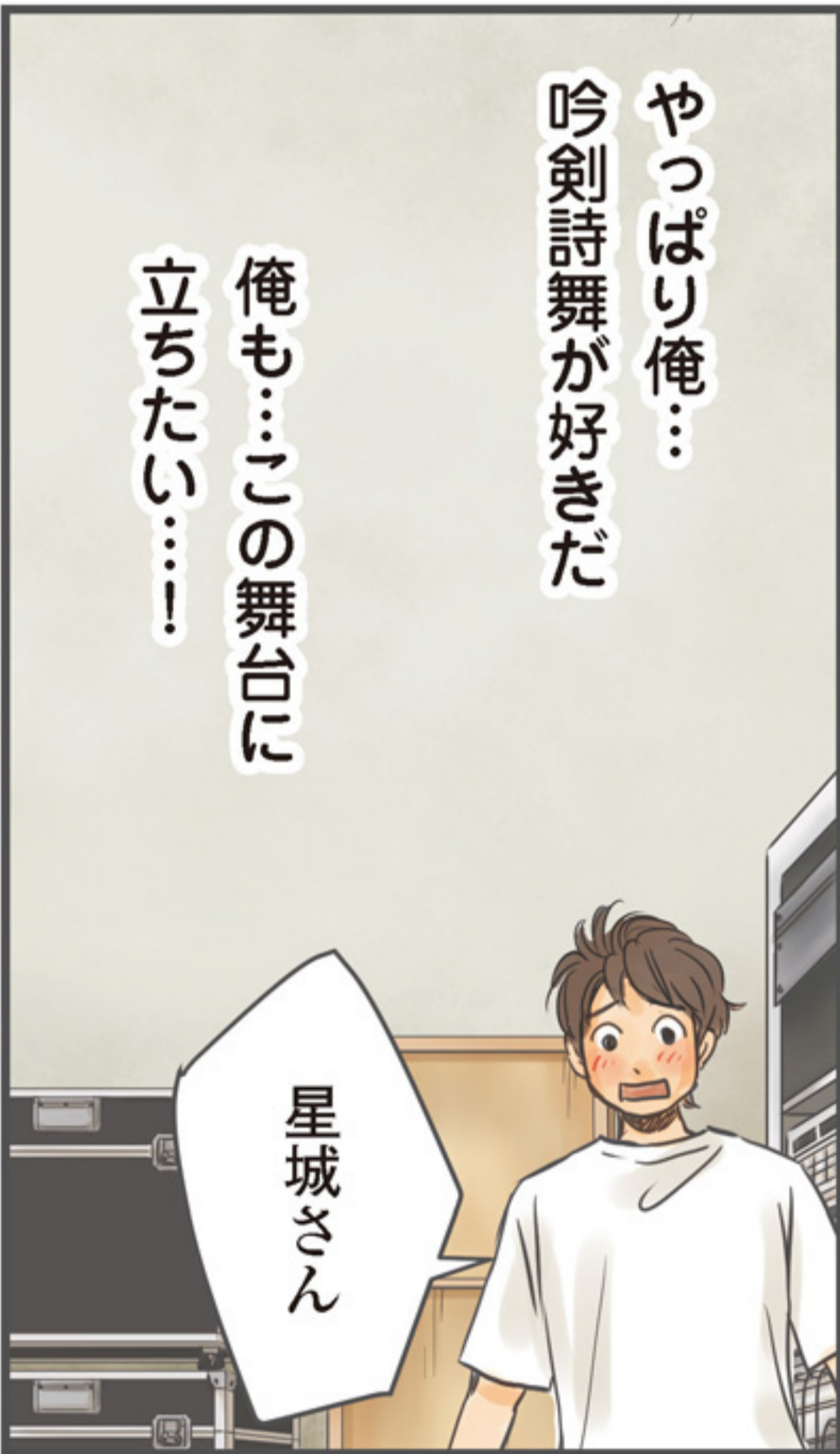
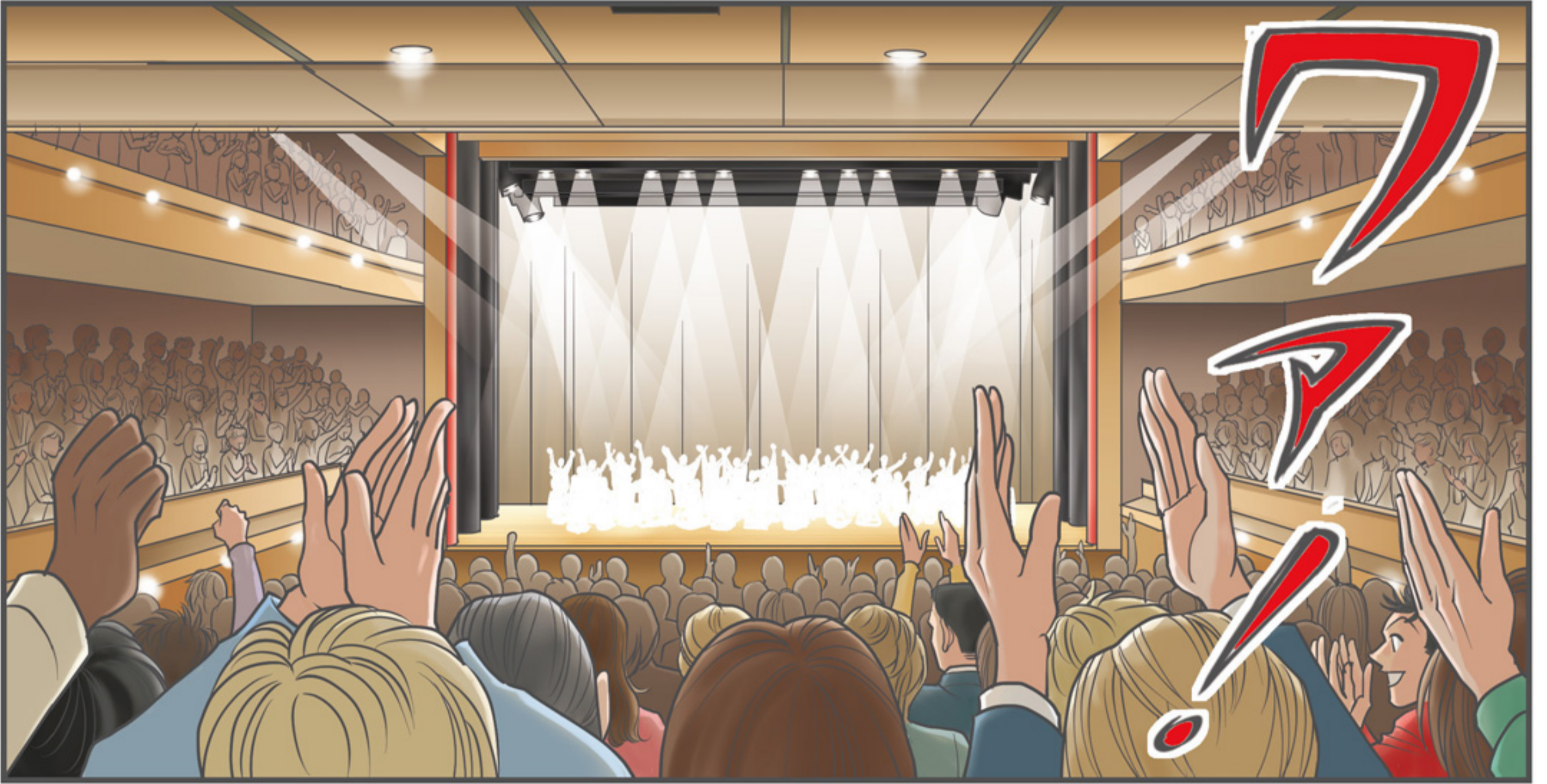
すごい...
圧巻だ



いいな...あのポジション

俺が舞うはずだった

Amazing!





これからも
ご指導を
よろしくお願い
いたします



宗家

俺：私は
剣詩舞を
続けていきます



そうか

精進
しなさい



それに…

この先は
世界で活躍
できるように
なりたいです

夢が
できた

新しい価値を
取り入れ続け
進化させる

「伝統を守る」から
一歩前へ——

